

# フィンランド・ヨーロッパのCLILレポート ー教育制度と関連してー

- ①フィンランド (CLILを産む教育制度)
- ②理科CLIL (ミニWS)
- ③オーストリア (経済CLIL)

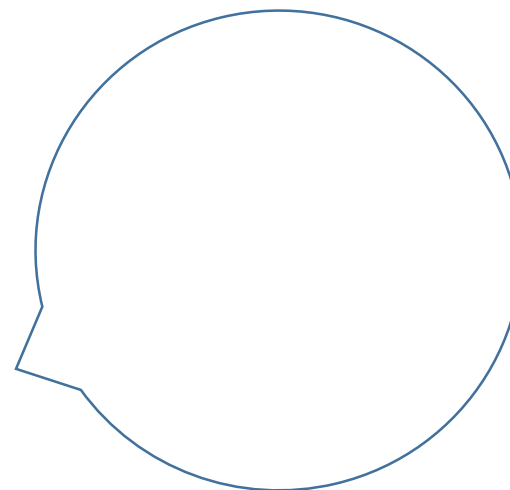
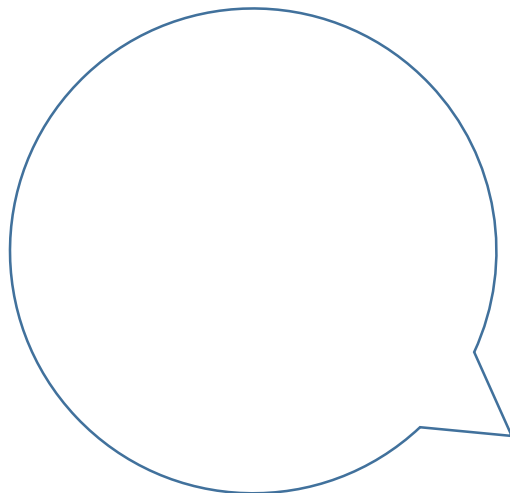
大阪教育大学 柏木賀津子, Ph.D.

J-CLIL例会 2019年12月21日(土) 早稲田大学戸山キャンパス

[kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:kashiwag@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

# はじめてのフィンランド語

# フィンランド-Suomi



Moi !

Aさん Olen kotoisin Helsingistä.

Bさん hyvä

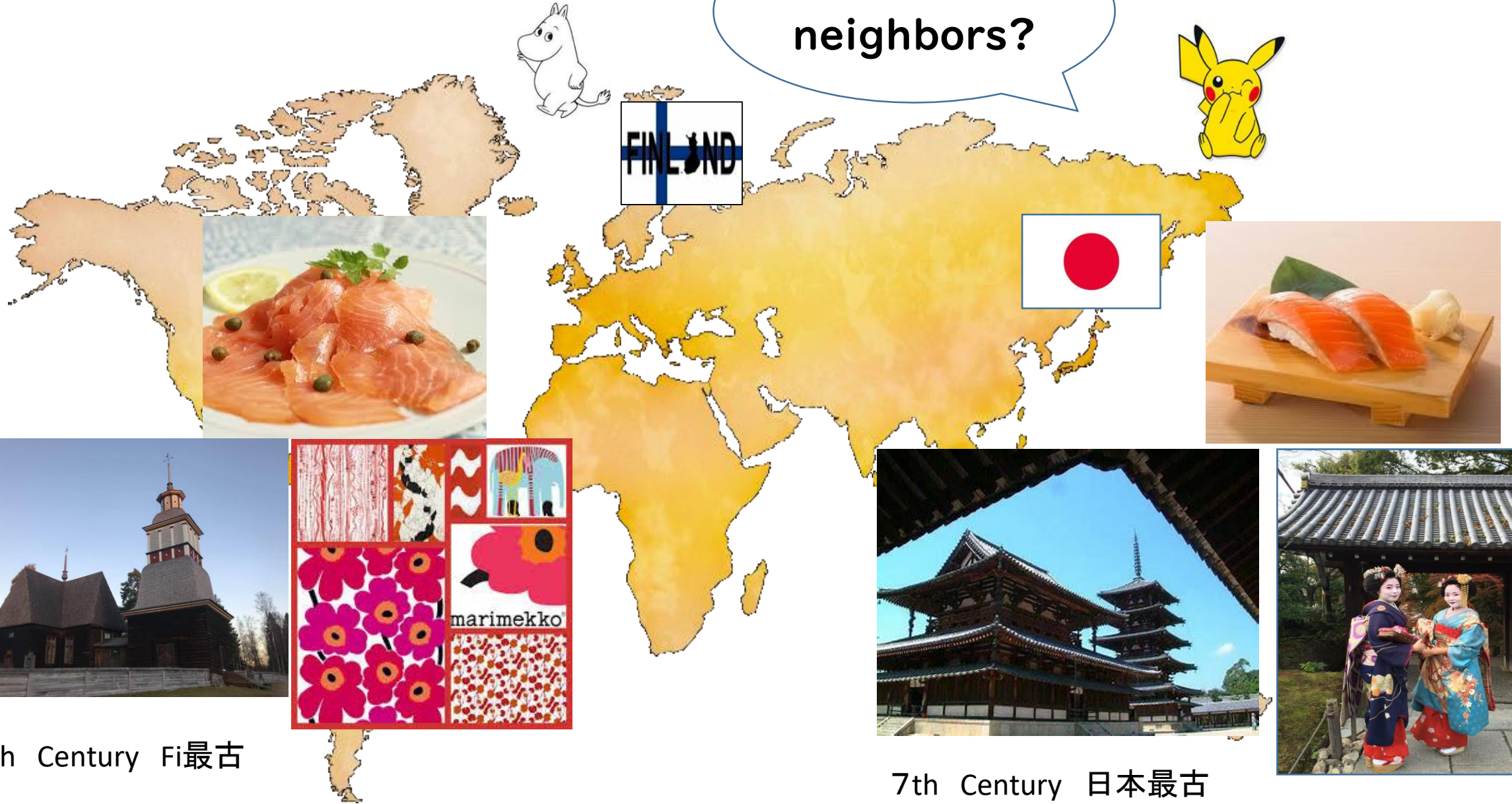
Bさん Olen kotoisin Osakasta.

Aさん hyvä.



# 1. フィンランドと日本

We are neighbors?



18th Century 最古

7th Century 日本最古



**Kuksa**



**People naked enjoy and chat with friends**



# EUから見た日本

16 companies of Japanese car companies are graded out of 22 most safety class

一番安全な車製造会社22社のうち16社は日本から  
“safety” and “credibility” 「安全性と信頼」



ものづくり

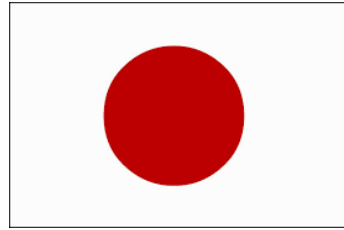


ムラタセイサク君\*プロフィール  
誕生日：9月29日（てんびん座）  
出身地：京都府  
身長：50cm

Make it smarter  
「より小さく 精密に」

# Top 100 Global Innovator 2018

39/100



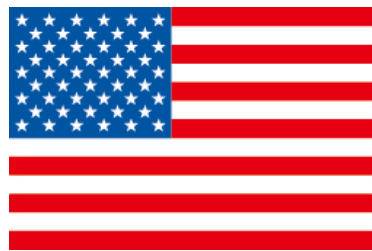
Toshiba, Omron, Canon, Sony, Honda, Toyota, Komatsu, Panasonic, Kyocera, Mitsui, Nissan, Toyota, Bridgeston, Daikin, etc.

1/100



Nokia

31/100



Apple, Amazon, Google, Microsoft, General electric, Johnson&Johnson, Nike, Intel, Marvell, etc.

保有する特許データを基に知財・特許動向を分析し、世界で最も革新的な企業・機関を選出したデータ

# 2013年

## フィンランドの教育は？ 日本の教育は？



科学リテラシー  
日本(4位)  
フィンランド(5位)

読解カリテラシー  
日本(4位)  
フィンランド(6位)

PISAがはかろうとする学力  
義務教育を終える若者が「今まで何を学んだか」でなく「これから何ができるか」(活用力)

社会的技能・問題解決技能  
異なった文化を理解する力等

2013年12月のフィンランドの新聞(PISA2012結果)

Vasa, 4<sup>th</sup> of Dec.2013

# 2015年 PISA調査 問題例

資料例  
2015年PISA  
科学的リテラシー  
コンピューター  
シミュレーション型

「暑い日のランニング」問1

PISA 2015

暑い日のランニング  
問 1 / 5

シミュレーションの実行方法

シミュレーションを実行し、以下の情報に基づいてデータを集めてください。下の問いの答えをプルダウンメニューから選んでください。

あるランナーが、暑くて湿度の低い日(気温 40°C、空気湿度 20%)に1時間ランニングを行います。ランナーは水を飲みません。

ランナーが直面する健康上の危険は、  
 です。  
 このことは、ランナーが1時間走った時点での  
 によって示されます。

気温(°C) 20 25 30 35 40  
 湿度(%) 20 40 60  
 水を飲む  はい  いいえ

気温(°C)	湿度(%)	水を飲む	汗の量(リットル)	水分の喪失(%)	体温(°C)

問い  
まずシミュレーターを使う

→あるランナーが暑くて湿度の低い日(気温40° 空気湿度20%)にランニングを行います。ランナーは水を飲みません。

①ランナーが直面する健康上の危険は(脱水症状)です。

②このことはランナーが1時間走った時点での(水分の喪失)で示されます。

## 問1:正答

ランナーが直面する健康上の危険は、  
 選んでください  
 脱水症状  
 熱中症  
 走った時点での

このことは、ランナーが1時間走った時点での  
 選択してください  
 水分の喪失  
 汗の量  
 体温  
 によって示されます。

生徒が以下の答えを選択した場合、正答となる。  
 ランナーが直面する健康上の危険は、(脱水症状/熱中症)です。  
 このことは、ランナーが1時間走った時点での(汗の量/水分の喪失/体温)によって示されます。



# 2015年 PISA調査 平均得点

## ● 全参加国・地域(72か国・地域)における比較

	科学的リテラシー	平均得点	読解力	平均得点	数学的リテラシー	平均得点
1	シンガポール	556	シンガポール	535	シンガポール	564
2	日本	538	香港	527	香港	548
3	エストニア	534	カナダ	527	マカオ	544
4	台湾	532	フィンランド	526	台湾	542
5	フィンランド	531	アイルランド	521	日本	532
6	マカオ	529	エストニア	519	北京・上海・江蘇・広東	531
7	カナダ	528	韓国	517	韓国	524
8	ベトナム※	525	日本	516	スイス	521
9	香港	523	ノルウェー	513	エストニア	520
10	北京・上海・江蘇・広東	518	ニュージーランド	509	カナダ	516
11	韓国	516	ドイツ	509	オランダ	512
12	ニュージーランド	513	マカオ	509	デンマーク	511
13	スロベニア	513	ポーランド	506	フィンランド	511
14	オーストラリア	510	スロベニア	505	スロベニア	510
15	イギリス	509	オランダ	503	ベルギー	507

# 2018年 PISA調査 平均得点

注)37か国マカオ・香港など数国が入っていない。

## ● OECD加盟国(37か国)における比較

□ は日本の平均得点と統計的な有意差がない国

	読解力	平均得点	数学的リテラシー	平均得点	科学的リテラシー	平均得点
1	エストニア	523	日本	527	エストニア	530
2	カナダ	520	韓国	526	日本	529
3	フィンランド	520	エストニア	523	フィンランド	522
4	アイルランド	518	オランダ	519	韓国	519
5	韓国	514	ポーランド	516	カナダ	518
6	ポーランド	512	スイス	515	ポーランド	511
7	スウェーデン	506	カナダ	512	ニュージーランド	508
8	ニュージーランド	506	デンマーク	509	スロベニア	507
9	アメリカ	505	スロベニア	509	イギリス	505
10	イギリス	504	ベルギー	508	オランダ	503
11	日本	504	フィンランド	507	ドイツ	503
12	オーストラリア	503	スウェーデン	502	オーストラリア	503
13	デンマーク	501	イギリス	502	アメリカ	502
14	ノルウェー	499	ノルウェー	501	スウェーデン	499
15	ドイツ	498	ドイツ	500	ベルギー	499
16	スロベニア	495	アイルランド	500	チェコ	497
17	ベルギー	493	チェコ	499	アイルランド	496
18	フランス	493	オーストラリア	499	スイス	495

日本は  
Global  
Competence  
2018年は回避(次回  
2021年)

内容  
・他者への責任  
・文化多様性  
・異文化の見方

**PISA調査の結果は、現在は非常に複雑になっており、国家か一つの都市か？予算基盤との比較？ 複合的に理解することが大切。**

**順位のみで判断せず、調査問題の内容と、学習に関する質問紙、TALIS調査を見比べ、国民が良く考え、一喜一憂しないことが大切。**

**教育の質について、2～3年で「計」が出るわけではない。**

# 21世紀の社会を支える 地球規模の協働的なプロジェクトは、〇〇国が〇位という議論ではない。



私たちは、一世代前ならまったく不可能であったことを成し遂げた。(2019年4月10日)

- 技術的なブレイクスルー、
- 世界中の最高の8つの望遠鏡たちをつなぐ
- 革新的なデータ処理アルゴリズム
- 6本の論文

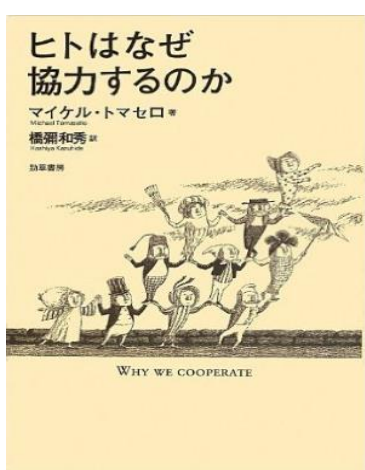
すべてがあわさって初めてブラックホールと事象の地平面に対するまったく新しい窓を開いた。



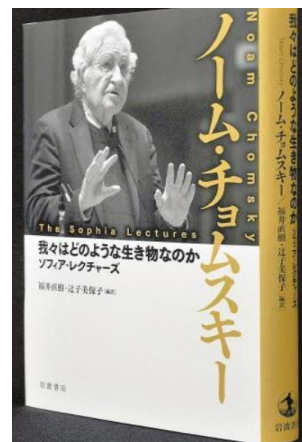
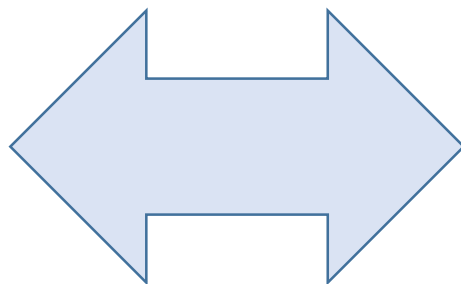
『アストロフィジカル・ジャーナル・レターズ』 特別号に2019年4月10日付

言語習得ー21世紀型スキルーCLILへの興味

～フィンランドの話をさせていただく分け～



トマセロ(2013)



チョムスキー(2000以前)

Universal Grammar  
(普遍文法)

SLA (第2言語習得) → **UBM (用法言語基盤モデル)** **CLIL(異教科連携)**

## 執筆

答えが無い仕事→→ 何もないところでカリキュラム創り  
人と世界と繋がり、俯瞰的に見て、データ検証し、自分で考える。

最近の論文 80程度 学習者の文構造への気づき フォーカス・オン・フォーム CLIL等

Kashiwagi, K., & Tomecsek, J. (2015). How CLIL classes exert a positive influence on teaching style in student centered language learning through overseas teacher training in Sweden and Finland *Elsevier Procedia-Social and Behavioral Sciences*, 79, 179-184.

## 海外との学術交流

海外教育実習プロジェクト FT-特別総合科目-発展実習 2010-2019

(フィンランド スウェーデン イタリア オーストリア 韓国 台湾 授業訪問)

国際シンポジウム 2014 イタリア文科省トレーナーRampone招聘 「CLILと日本への応用」

国際シンポジウム 2015 ユバスキュラ大学 Tarja Nikula 教授を迎えて 「フィンランドの言語教育」

国際シンポジウムワークショップ 2016 4大学リレー開催 (大阪教育大学 北海道教育大学 早稲田大学 宇都宮大学)



フィンランド (EU)  
2012年-2019年

海外教育実習

CLIL



英語スキル & 手続き的知識  
海外の教員とグローバルコンタクト  
21世紀型スキル & 俯瞰的視野  
日本らしい教育の良さを発信



WWL: world-wide learning ^



CLIL-物理コンデンサー



CLIL 国際シンポ



CLIL - アニメと  
起承転結



CLIL-  
物理 空気の圧力

# 大教Project 2012-2015

# 物理 CLIL



Taiwan, Electromagnetics



Finland, Paper Plane: Hovering



Sweden, The Center of Gravity: COG



Korea, Surface Tension



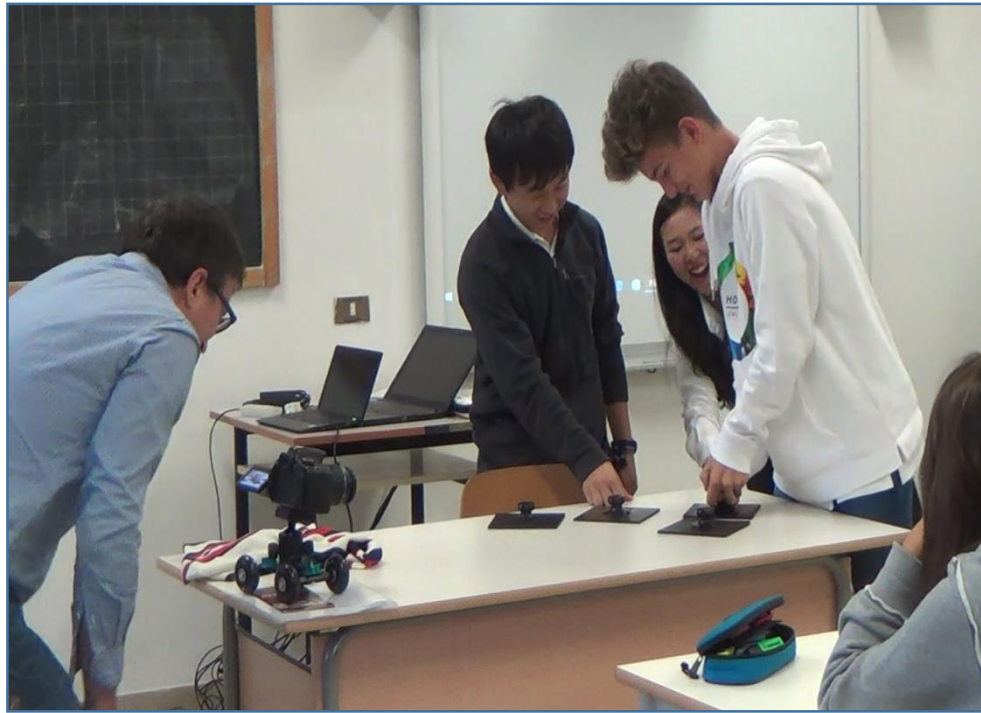
Korea, 3-D figures



Italy, Light spectrum



# 2015 物理 CLIL



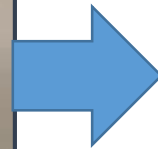
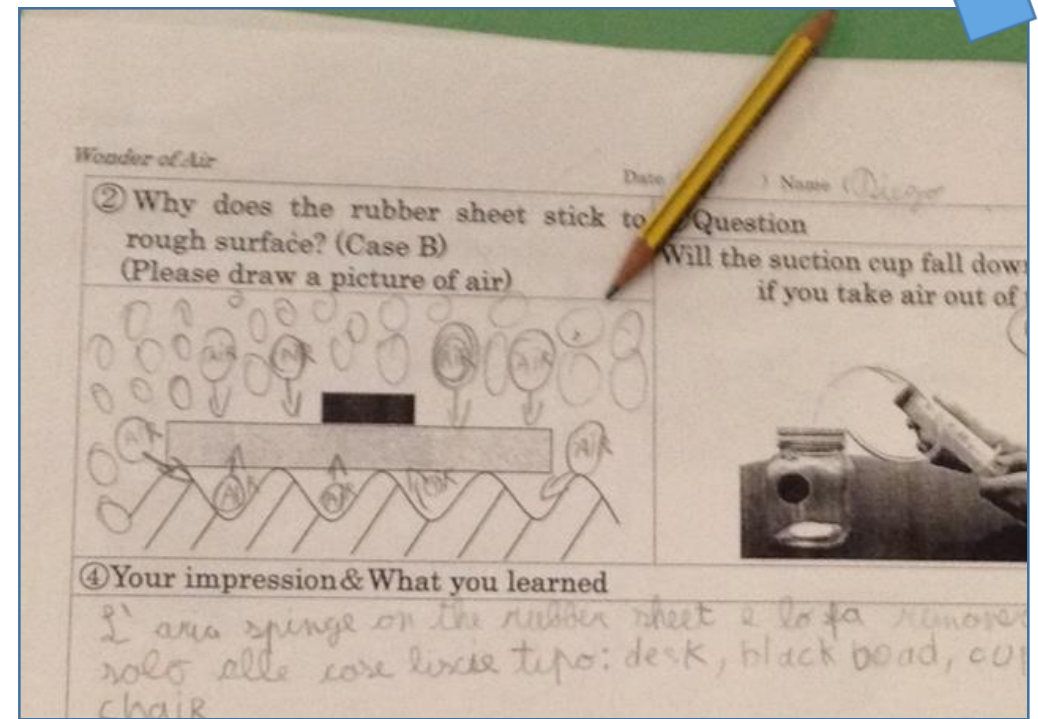
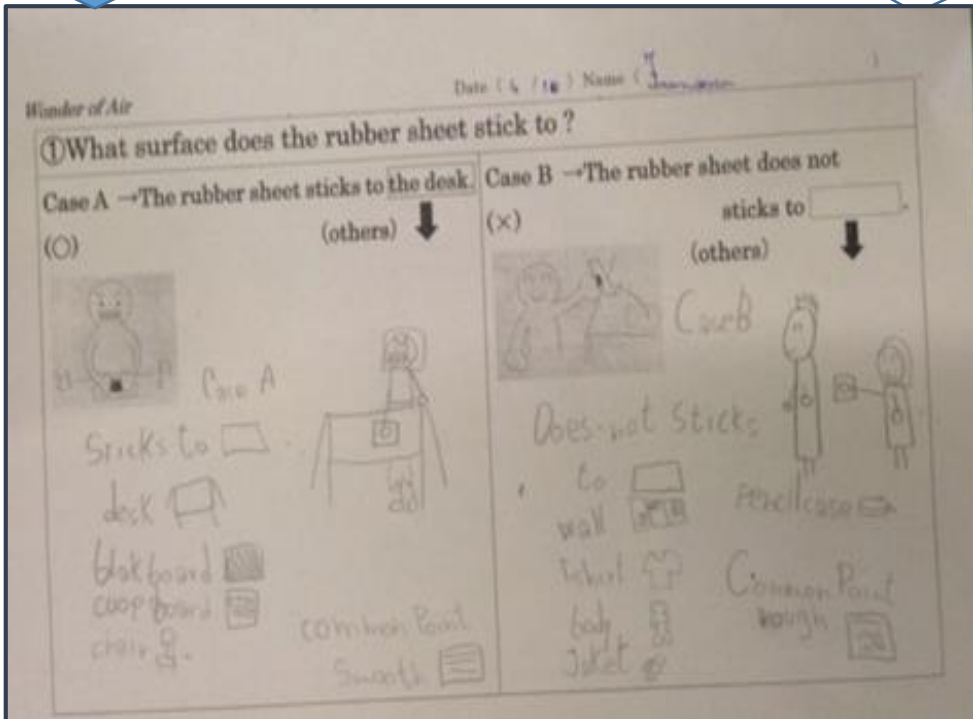
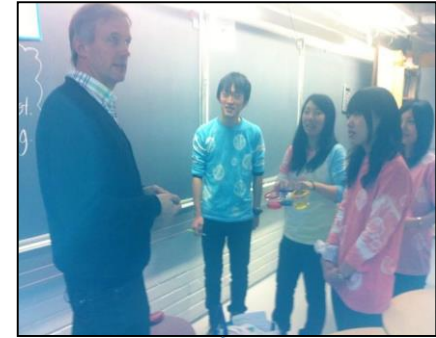
Wonder of Air  
"Air pushes things"

Italy, Romano Bruini • Age 17

Ist experiment → CLIL's 4Cs  
Categorization (HOTS)  
→ 2nd Experiment → Discussion  
→ Science-Specific English

PDACサイクル  
分析と国際学会プレゼンへ

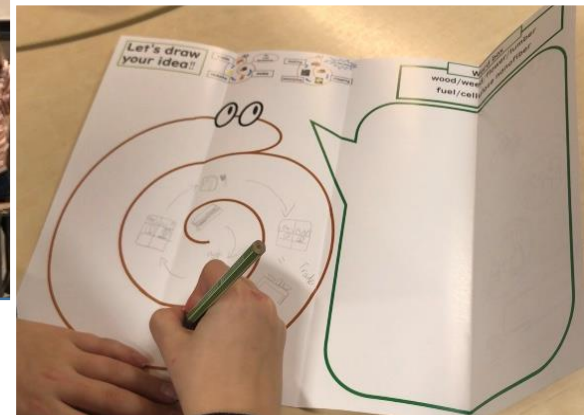
The improvement of children's thoughts  
生徒の思考がどう進んだかのプロセス重視



# フィンランドで発信したCLIL授業 大教2019



理科 × 数学 × 英語 / CLIL  
ストロー笛「長さとお音」



環境 × × 英語 / CLIL  
サーキュラー・エコノミー  
(未来のエコ)

# フィンランドからの学び(2019) 現象ベースの授業



1. Tärkeä muinaisen Egyptin kauppa- ja kulkuväylä
2. Egyptin hallitsija
3. Hallitsijan hauta
4. Egyptiläinen kirjoitus
5. Arvostettu ammatti
6. Toimenpide, jolla saatiin ruumis säilymään
7. Ohjekirja kuoleman jälkeiseen elämään
8. Leijonan vartalo, ihmisen pää
9. Yhdestä kivistä veistetty pylväs
10. Haukanpäinen jumala

古代ピラミッドと暗号解読in CLIL  
(5年)

PISA型学力とスクールリーダーシップ  
フィンランド海外教育実習(2019) ユバスキュラ大学

答えの出ない問いの探究 PBL  
問「ヒエログリフコードは  
どう解読されたのか？」

## 2. 在外研究に臨む前の私の「目あて」

- ➡  「言葉の教育」“<sup>ほこさき</sup>最鉾端”の指導を見る  
(エスノグラフィー・観察・半構造化インタビュー)
- 異分野連携の大学・博士課程の教育に入りこむ (CALS 国際共同研究の方法 CLIL教科連携)
- ➡  どのようにして教育改革が進んでいるのか  
(EU・PISA・スクールリーダーシップ)
- 自分の研究について、スカンジナビアで学会発表をする (NERA教育学会, TDL言語学会)

# 2018年在外研究 ユバスキュラ大学

Center for Applied Language  
Studies (CALS)

博士課程応用言語研究所

学生・院生 15000人

教員 2500人

修士と博士教育は英語で行われている。  
教育学部は内容により、フィンランド語



所長 Nikula, T. Ph.D.



リサーチ ミーティング  
博士課程の運営について



Erasmus + 教員が異文化Contactを



CLIL (教科連携) 教員講義を担当



中学校 カフェルーム  
学校運営について、シャドーイング

# Department of Education (教育学部)



博士課程の講義に参加      スピードと宿題の量に圧倒された最初の2か月      惜しみないパートナーシップ  
世界にはばたくときに、日本の若者が超えないといけない” WALL “

- 高いプレゼン力+複合言語リテラシー      (母語+英語+Sweden語+〇〇語)
- 高度なICT活用 (創造的に使う)      Wifiアクセスは国民の人権
- Active Learning力      グループの考えをまとめる力
- 寛大さと自立性・・・幸せランキング1位の秘密

# フィンランド人の不思議





# 今の皆さんのイメージは？

日本の教育は、〇〇だ。

丁寧  
個別補習

クラス人数  
多(40人)

予算が少ない

学校と教師  
の自立性

教師の多忙  
(説明・生活  
指導・部活)

現職教育  
に良さ？

フィンランドの教育は、〇〇だ。

行き届く  
個別指導

学校と教師  
の自立性

予算が多い

クラス人  
数少  
(18人)

教師の余裕  
(16時帰宅)

教育実習  
の充実？

主張してみよう。イメージ・独断でかわまない。

多くの国で上手くいってない点が、両国では進んでいて、教育者の手によって工夫の余地があること（私見）

## 日本の教育

学校と教師  
の自立性  
(?)

現職教育  
に良さ  
In-Service

## フィンランドの教育

学校と教師  
の自立性

教育実習  
の充実  
Pre-Service

授業の充実  
「教えて考え  
させる」

### 3 「問い」を一般化・概念化・根源化してみる

日本の教育は、〇〇だ。

フィンランドの教育は、〇〇だ。

→影響を問う質問にしてみてもは？

～が、～に。

→度合いを問う質問にしてみてもは？

何が、どれぐらい～。

# 問いに対して、何をもとに主張できるか？

お父さんが、〇〇と言っていたから・・・

新聞で、一度みたことがある・・・

1週間旅行した記憶で・・・

僕は自分の目で見たものしか信じない。  
けど、この目で見たものはどんな馬鹿げ  
たものでも信じるよ。『そのうち』なんて  
当てにならないな。今がその時さ。

*Tove Jansson—through Snufkin*



言語



知覚



理性・論理

感情

想像

直観

記憶

Way of Knowing (8つの「知る方法」)  
IBプログラムより

## 調査のための問い

「何が影響して、教育改革が進んだのか。」

予想してみよう・・・

だれが・・・

どうやって・・・

教育行政・環境的なもの・・・

教員養成は・・・

教師は何を・・・

教師のやりがいには火をつけるものは・・・

生徒は、どう変わった・・・

# フィンランドと日本の教育の類似と相違

(一般的データから)

福田, 2007 Sahlberg, 2011 PISA調査2015年

+母語+2~3言語  
コミュニケーション  
力

+勉学に関する  
ICTリテラシー

+論理的思考  
+シチズンシップ

プロセス重視 How

理数に少し課題

共に学力はトップクラス

母語リテラシーもトップクラス  
(日本は特に)

シャイ

自己効能感が低い

+理数はトップクラス

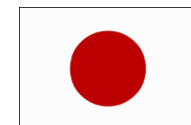
+日本固有の文化魅力

+集団・チーム・規律?

結果重視? What

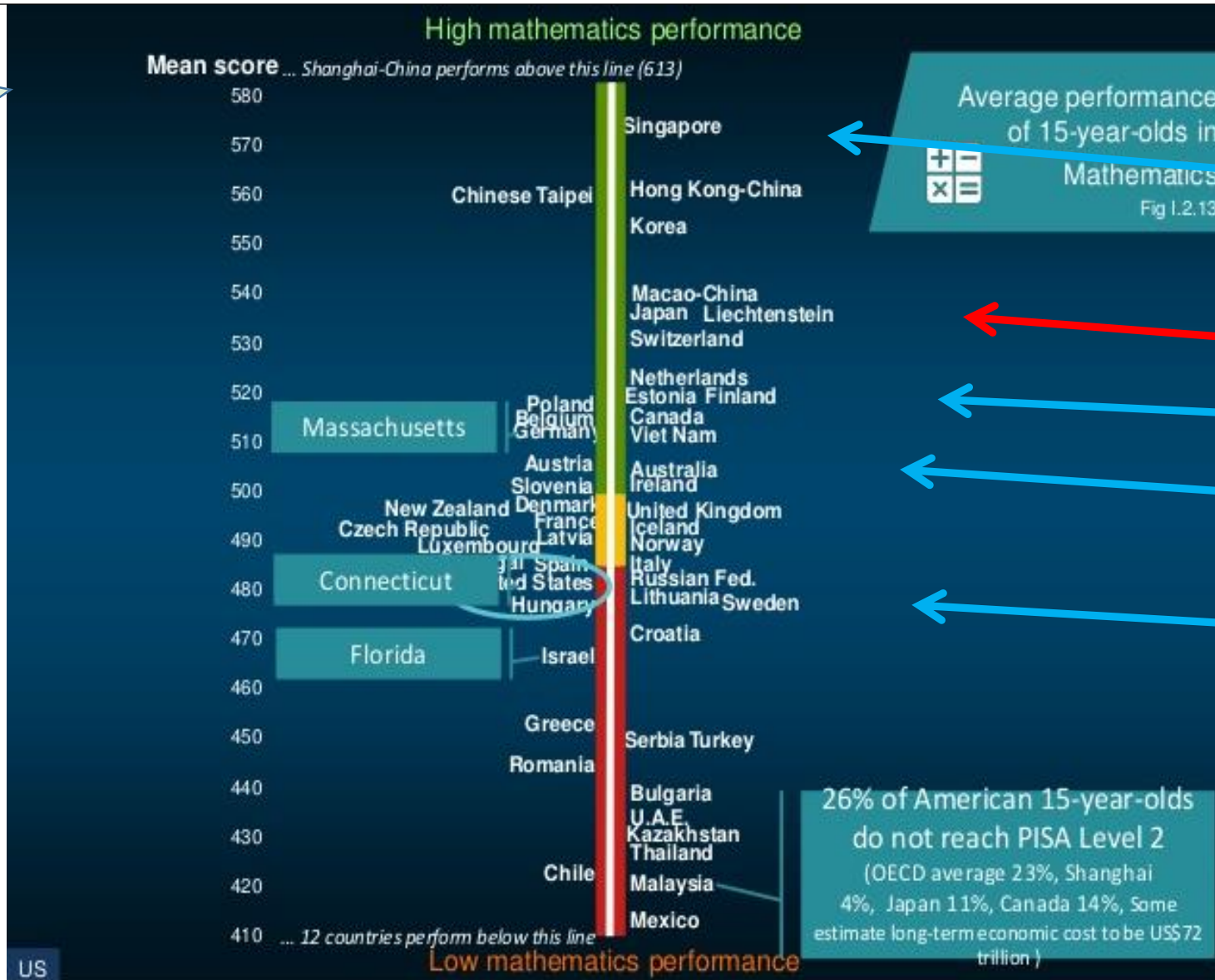
シチズンシップ

コミュニケーション力



# PISA2012 数学分野の概観

縦軸は平均スコア



シンガポール

日本

フィンランド

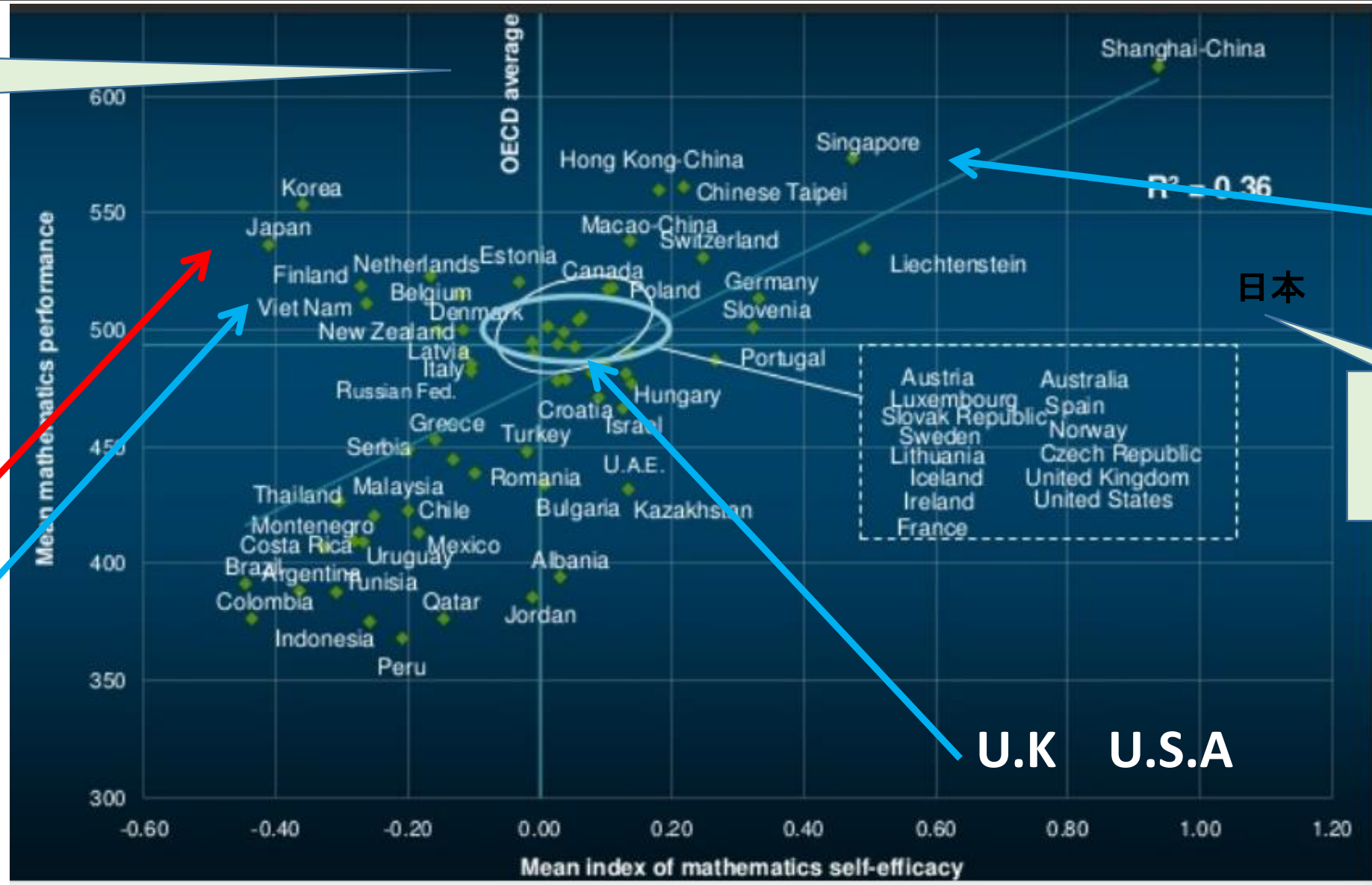
オーストラリア

スウェーデン

# PISA 2012 数学のパフォーマンス平均と自己効能感の相関

縦軸-平均スコア

日本  
フィンランド



横軸-自己効能感

シンガポール

日本

U.K U.S.A



# フィンランドの教育制度

## 資料① 教育制度

全ての大人・教員は博士課程進学可能  
(誕生から博士まで無償)

教員は学士(3年)  
修士(2年)を修了する

高校・職業学校の  
両方から大学進学  
が可能

16歳までの平等性・均等性

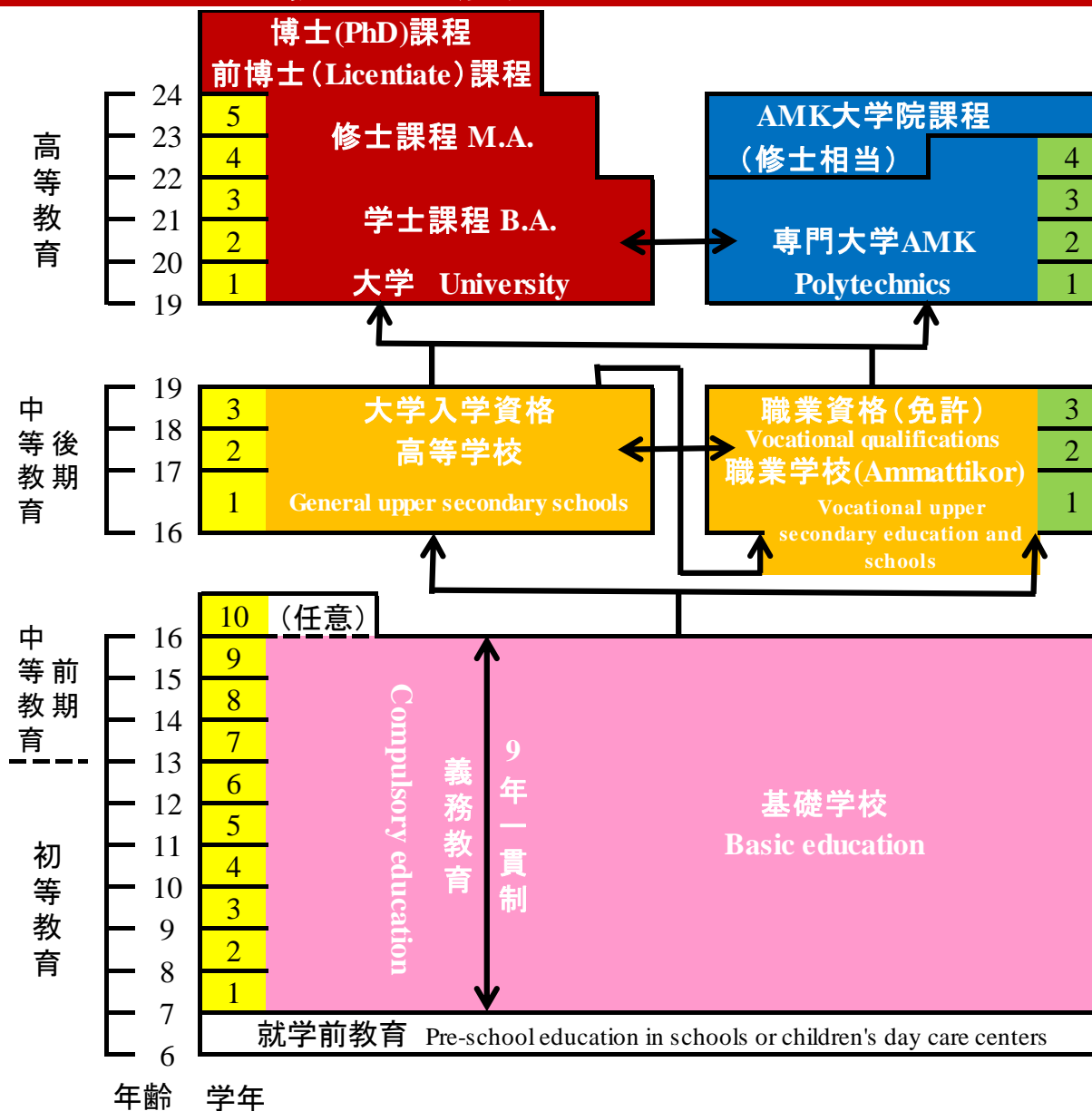
**Equality**

その間のテストは15歳時のみ

公立学校98%

私立学校2%

**ネウボラ**制度(就学前から  
10歳ぐらいが対象)



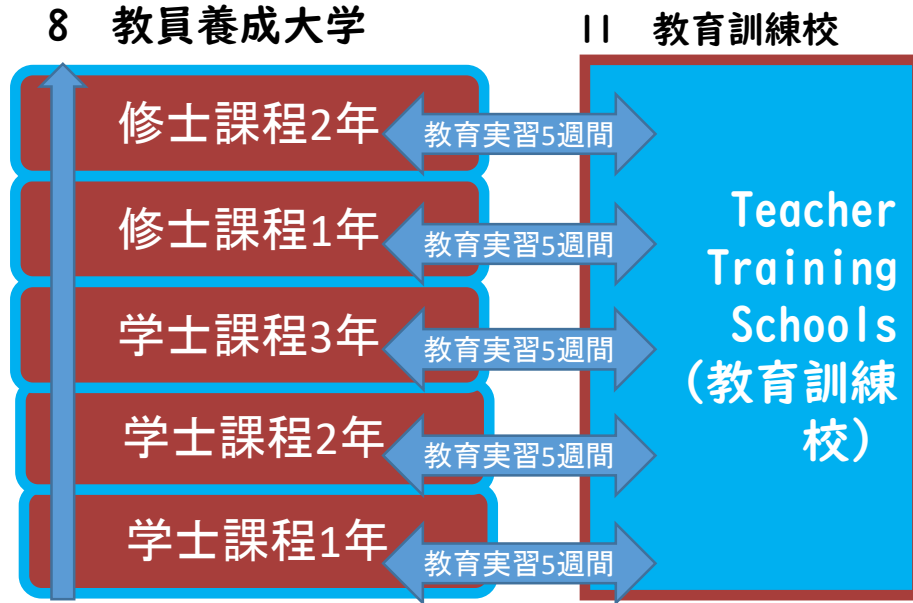
注)  
①就学前教育と主学年齢  
フィンランドでは、7歳を過ぎてから基礎学校に入学するため、6歳を過ぎてから小学校に入学する日本より、学齢は1年遅い。  
②第10学年  
フィンランドでは、9年間の基礎教育(義務教育)のあと、任意で1年間の補習プログラムを受講することができる。通常、希望する上級学校に入学できなかった生徒がこのプログラムを受講する。  
③高校進学時の合否基準  
高校進学の際の合否基準となるのは、基礎学校での成績である。そのため、近年は、基礎学校における成績評価の標準化を進めている。  
④AMK  
Ammattikorkeakouluアンマッティコルケアコウルは、フィンランド語で高等職業教育学校を意味する。英語では、ポリテクニクPolytechnicsと訳されている。これは、イギリスのポリテクニクを語源とするが、フィンランドのAMKは制度上異なっているため、ここでは、「専門大学」としている。

出典：庄井良信フィンランドの教育—教師の尊厳と<高い専門性>を支える政策，学校運営（2012），一部改変（「諸外国から見た日本の教員養成の現状と課題」 HATO教員養成シンポジウム、宍戸隆之、2017）

# 資料②教育実習 (5年間)

## フィンランドの教員養成制度(教育実習)

One of 11 Teacher Training Schools connected to Faculties of Education at 8 university  
(8教員養成大学と11教育訓練校が連携して教員を養成している)

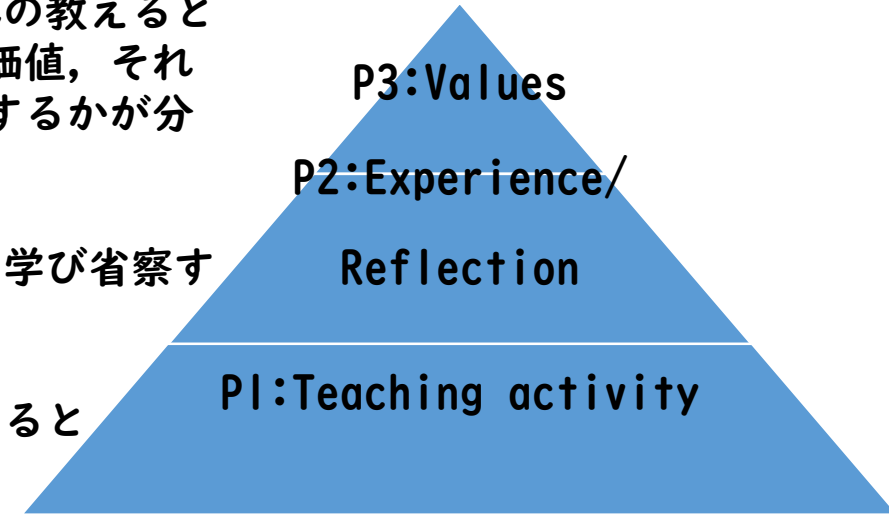


- ・ 教員免許取得のためには、学士課程3年、修士課程2年を修了しなければならない。
- ・ 毎年、約5週間の教育実習を行わなければならない。1年目は、観察が中心で、回を重ねていくにしたがって、補助指導ができるようになり、さらに単独指導と発展していく。
- ・ 教育実習では、Practice とTheoryの統合 (PT project) によって指導がなされる (右の図を参照)。
- ・ 教育実習の指導は、各教育訓練校にいるSupervisor (実習指導者) が担当する。この実習指導者になるためには、資格が必要であり、この資格を持っていると採用時に有利になるため取得率は高い (2年間をかけて休日の講習)

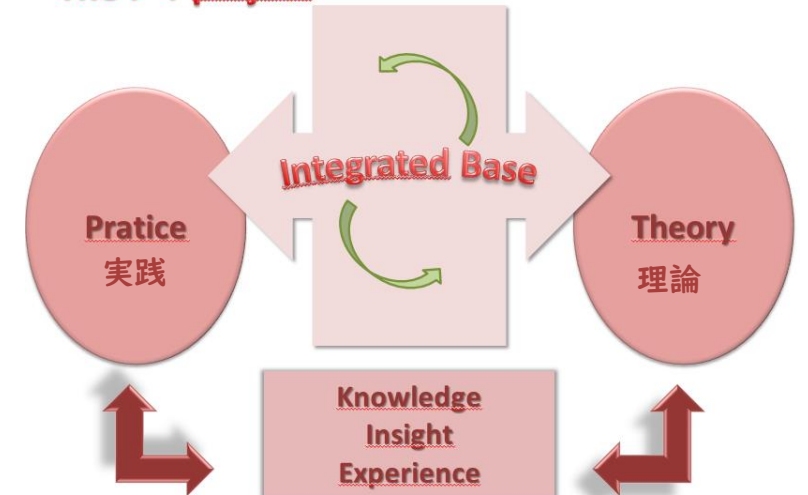
P3:それぞれの教えるということの価値, それ  
が何を意味するかが分  
かること

P2:経験から学び省察す  
ること

P1:まず教えるとい  
うこと



### The P-T project



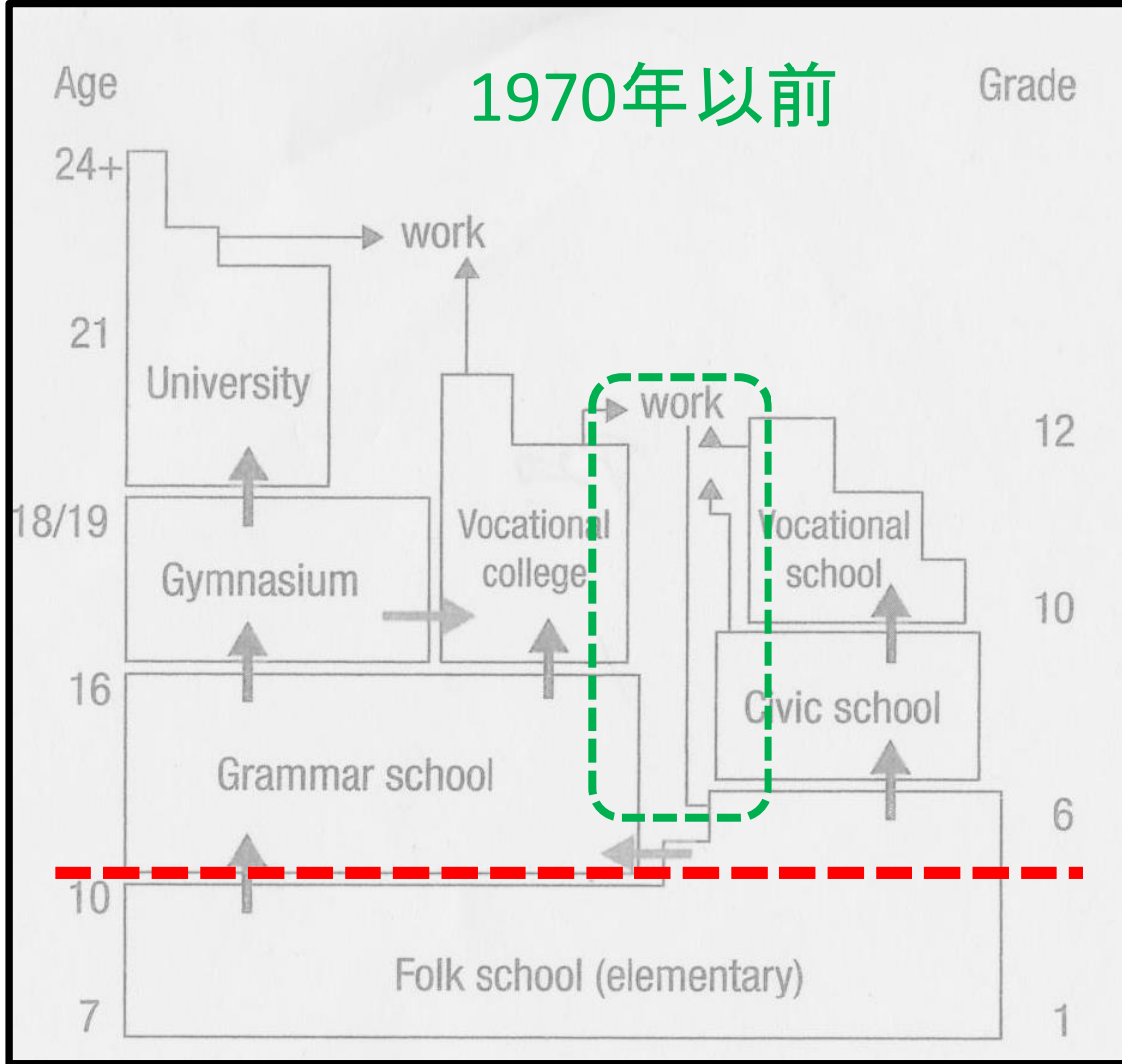
知識, 洞察力, 経験

右図: Leading principal at Vasa Teacher Training School

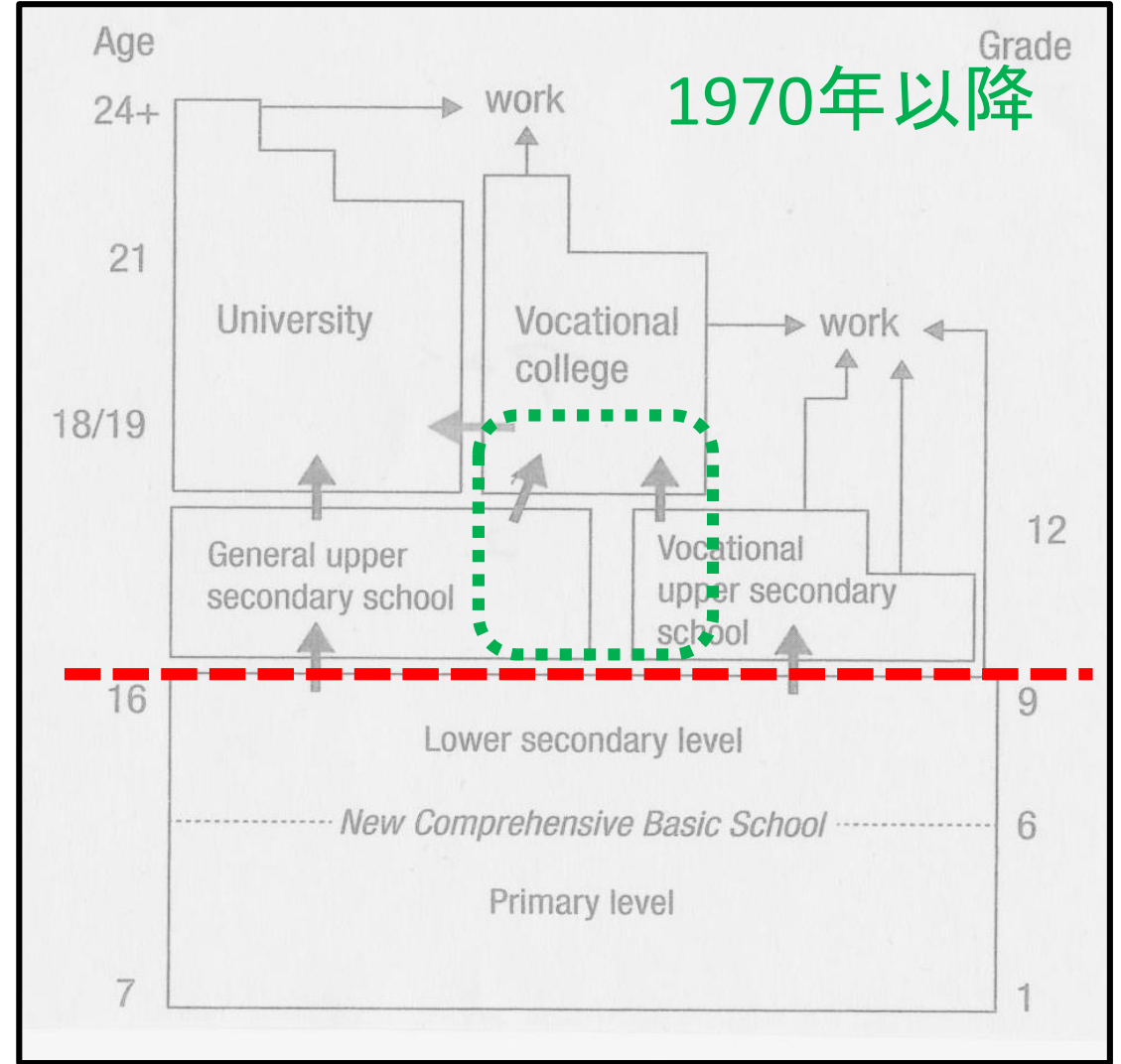
Gun Jakobssonの講話 (2014) スライド内の図を一部改変

HATO教員養成シンポジウム、宍戸隆之、2017

# 資料③ 教育制度の変遷



1955～1970年頃は、**10歳で**、進学 (Grammar S)か、市民学校 (Civic S) → 職業学校 かに振り分けられた。



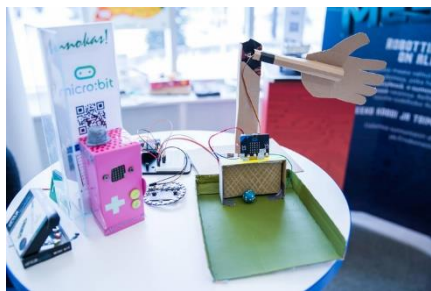
1970年～に、**16歳まで均等**になり、進学 (Grammar S S)か、職業学校 (Vocational S S)かに振り分けられた。

## 資料④ 教育制度の変遷

誰が？ FPSTA (フィンランド小学校教員連合) が5年間の国民的議論のもと提案し 社会の力が教育政策に大きな影響を与えた→知識基盤社会の基礎になる

中学校入学者が増えた

34,000人(1956年) → 32,4000人(1970年)



Basic Education for Children

全ての学校で可能な Robotic Week 2018

全ての生徒に同じ教育を与えても同じ成果が出るとは限らないが、フィンランドは産業国家を目指し、将来に何をを目指すかはわからない、全ての子供に16歳までの教育を等しく準備する Aho, et al., 2006



# 資料⑤ 教員採用試験

## ユバスキュラ大学教育学部 K,Matti,Ph.D. より

(Interviewed by Kashiwagi,2019)

### 1、教育学部に入る関門(フィンランド)

フィンランドで教師になるにはまず、教育学部の教員養成学科に入学しなければならない。教員になりたい人は、全国統一の筆記試験がある。筆記試験の内容は、教育5分野の専門書を読み、1) 基本事項のチェックについて、2) テーマのある長文エッセイを書く(つまり高校修了時)。フィンランド全国の教育学部を合わせると、約**8000人**の志願者が**3000人**に絞られる。

次に各大学で、コース別(小学校担任か、中学以上の教科担任)で、筆記試験が行われる。ここで、**1000人**程度まで絞られる。個人面接とグループディスカッションで数人の試験官が独自に採点した結果を集計し、**数百人**の合格者を決める。入試倍率は**13倍**ということだ。(年号によって違うので注意)

### 2、教員資格条件

クラス担当教員(初等教育レベル)

一教育に関する修士号 所定の単位 フィンランド語(スウェーデン語)

教科担当教員(前期中等教育レベル)

一修士号以上 主専攻の教科 所定の単位(同上)

### 3、採用は各教育委員会 校長裁量(3~5年契約)



学校間の引き抜きもある。

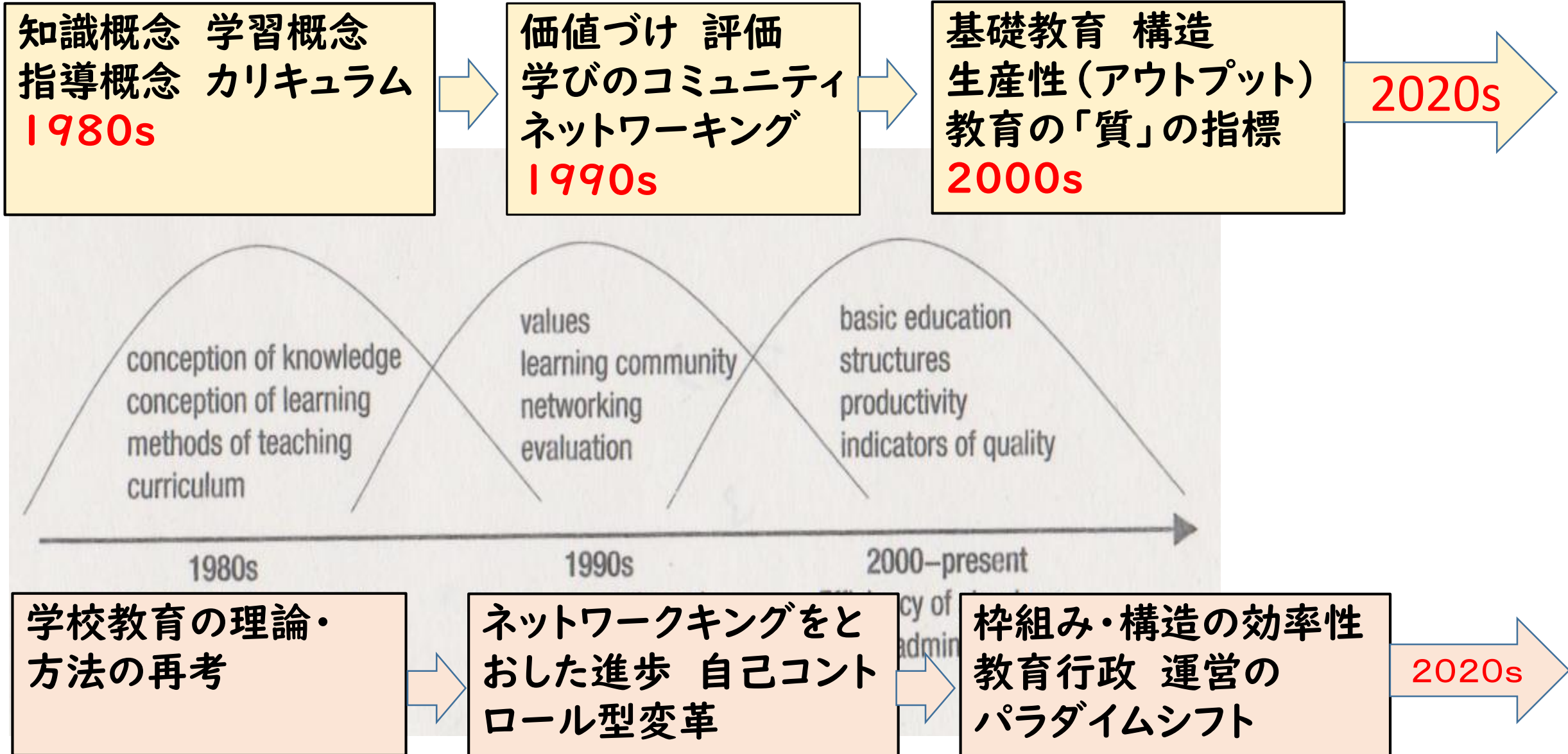
## 資料⑥ 大きな教育改革 1995年

教育改革:

学校に教育に関する決定権を移譲する教育改革を推進している。その趣旨は、学校を取り巻く地域社会のニーズに学校が速やかに対応できるように、決定権を出来るだけ学校現場に移譲するというもの。

⇒ これにより、全国カリキュラムガイドライン(教育目標、各教科の総授業時間(前期6年間、後期3年間でまるまるという定め方)は教育省が策定し、週当たりの各授業時間等は自治体又は学校が、勤務校の教育課程の編成及び教科書の選定の決定権は教員が持つことになった。

# 資料⑦ 改革の連続 1980年-1990年—2000年-2020年



# 資料⑧ 2016年(フィンランド学習指導要領)

## 2016 Seven Transversal Skills

## 2016 7つの転移可能なスキル 【人間や市民としての発展】



### Rethinking competences

National Goals for  
Basic Education  
and Transversal  
Competences

- ◆ knowledge
- ◆ skills
- ◆ values
- ◆ attitudes
- ◆ will



T1 学ぶための思考と学習

T2 文化的な能力 対話と表現

T3 自己管理と他者ケア 日常活動の管理 計画

T4 マルチリテラシー 多様な読み書き、文化的コミュニケーションを理解し、アイデンティティを構築

T5 ICT能力 創造的にICTをもちいる

T6 社会や仕事 起業家精神に関する能力

T7 持続可能な未来作りへの参加と影響



2020年

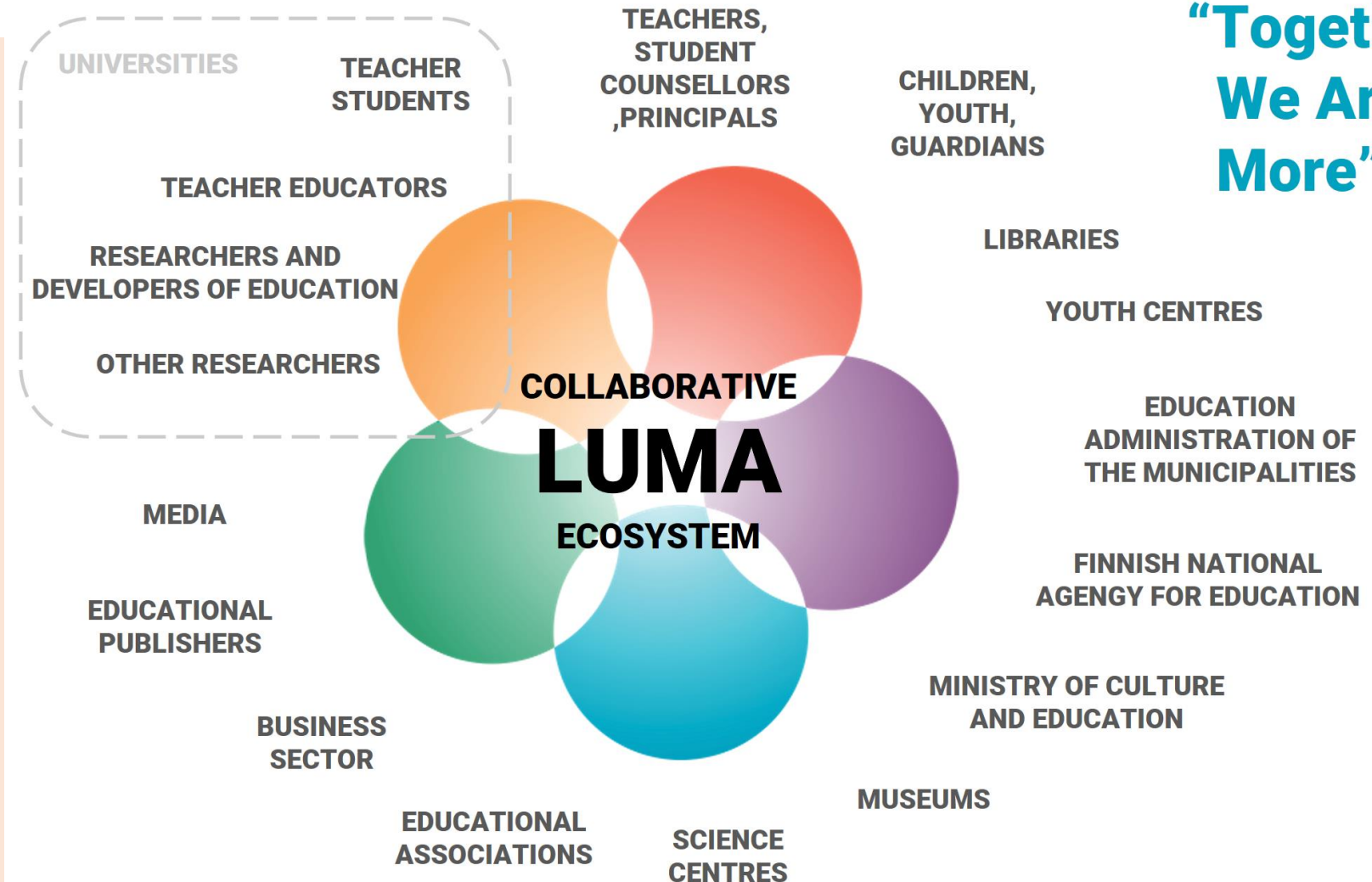
# Phenomenon-based Curriculum

(フィンランド新学習指導要領2020 検討中)

“Together  
We Are  
More”

## Rubric

- 1) Holisticity
  - 360° perspective
- 2) Authenticity
  - correspond the real world
  - knowledge is used.
- 3) Contextuality
  - natural context is used
  - learners work on the vague and ambiguous, not pre-defined(phenomenon>not the problem was set)
- 4) Problem based inquiry learning
- 5) Learning process
  - The aim is to facilitate students to learning something new.

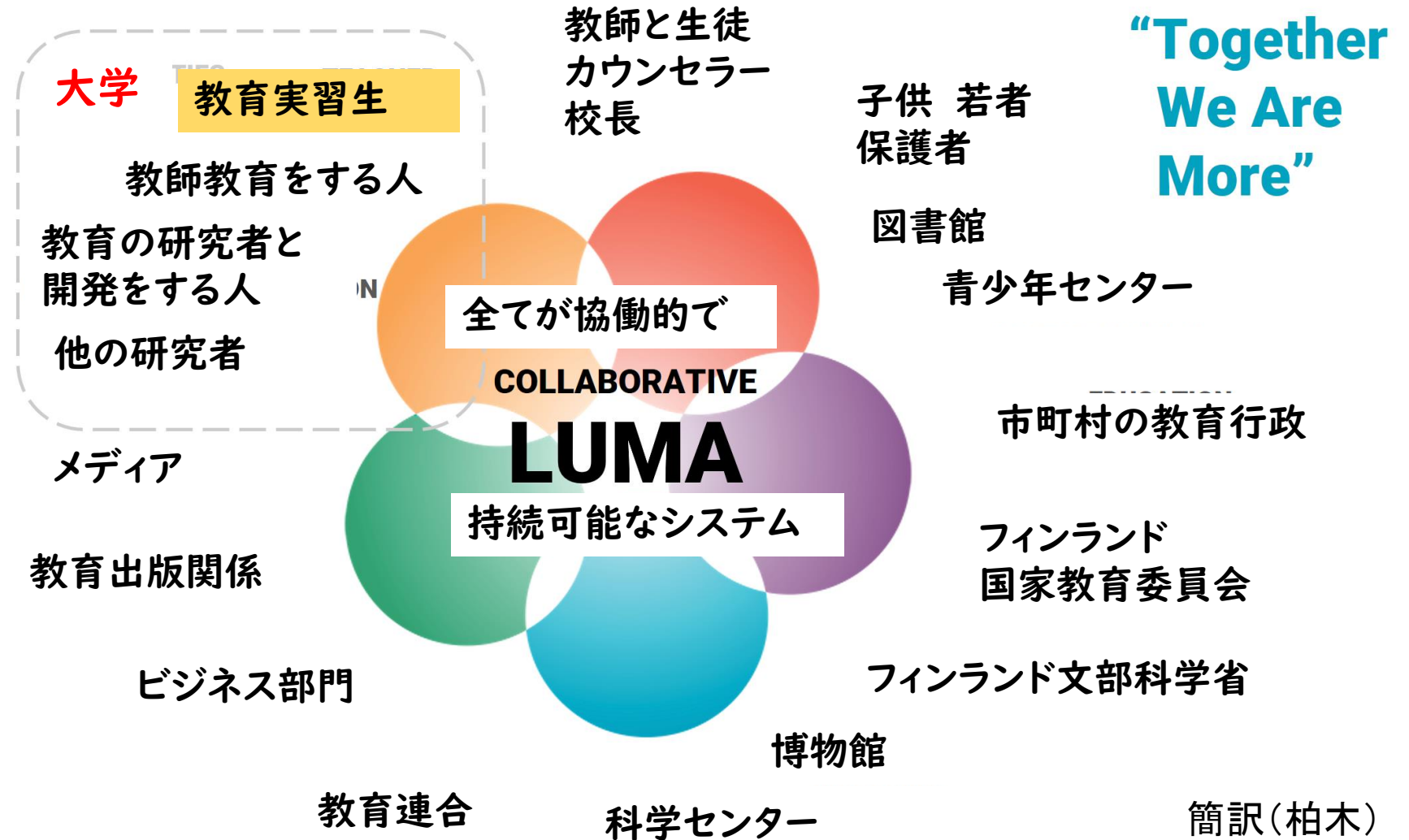


# 資料⑨ 2020 現象ベースの学習 Phenomenon-based Curriculum

## Rubric

- 1) 全体的・包括的  
- 360° の視野
- 2) 真正性  
- 実際の世界・社会に直結  
- 知識を使うように
- 3) 自然な文脈で  
- 生徒は、曖昧で明確でない  
= 前もって定義されていない問題を考える 本当の現象はセットされないから
- 4) 必要性のある問題解決
- 5) 学習のプロセス  
目的は、生徒が新しい何かを学ぶことをファシリテートすること

# (フィンランド新学習指導要領2020 検討中)



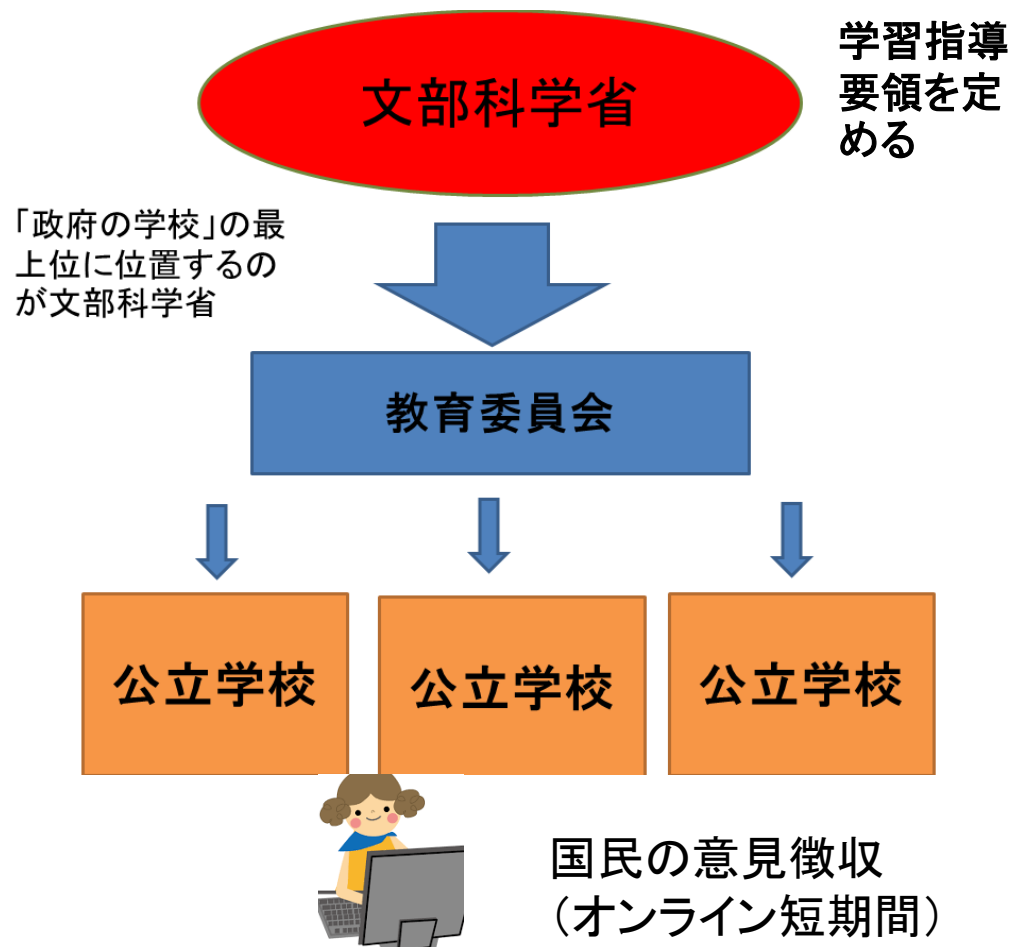
# Phenomenon Based Learning (PhenoBL)

- 1 全体的な現実世界の現象が学習の出発点となる
- 2 実際の文脈で研究され、情報とスキルを活用する  
(For digital age)

例：人間、欧州連合、メディアとテクノロジー、水やエネルギーなどの話題

興味のある方はこちらを→PHenoBL Learningの映像  
<https://www.bbc.com/news/world-europe-39889523>

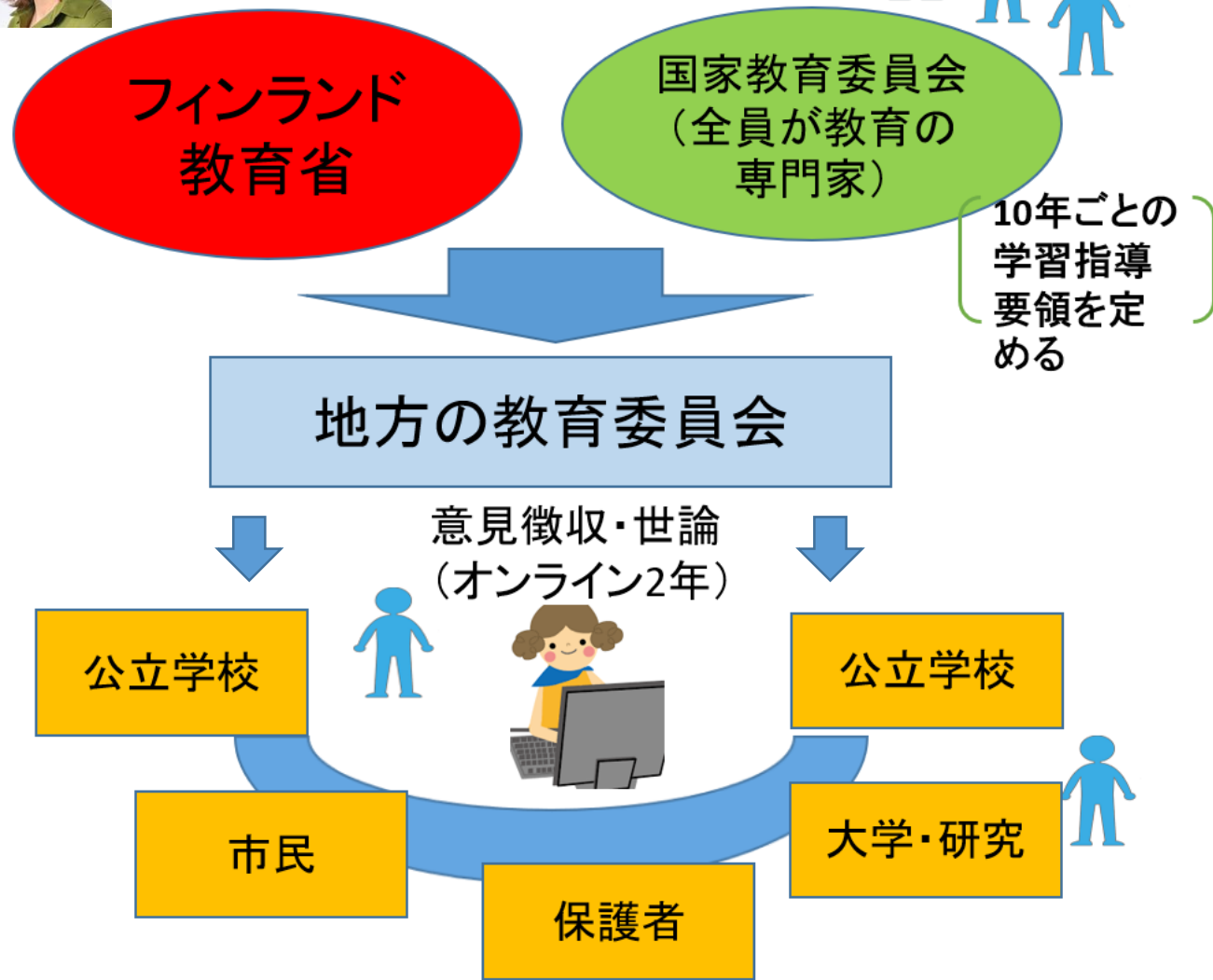
# 資料⑩ 教育システム(日本)



# 教育システム(フィンランド)



Minister of Science and Culture 2019~  
Hanna Kosonen, MA. 研究・図書館・博物館等



## 資料⑪ 教師としてのキャリア

## Teacher as a researcher



### 教師の職業人気は、

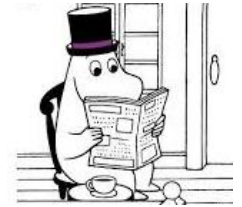
- ・信頼と協働が可能
- ・未来のため学べる職業
- ・教員研修でスキルアップ
- ・トップやボトムスクールは存在せず、生徒のために仕事ができる
- ・生涯出来る仕事
- ・良い給料と遣り甲斐が他に見つかれば転職もする。  
(50%は5年間に離職)
- ・採用は校長裁量で再受験可能

フィンランド教育相と教員連盟は共同で、集中教員研修を提供

# 「問い:何が影響して教育改革が進んだのか。」

大戦後の焼け野原や、孤児の問題に苦しんだ。  
都市と田舎では、大きな教育格差があった。

(Sahlberg,2010)



歴史評論家  
Moomin Papa

1945年

変化

2019年

世界に開いていく必要性→グローバル化

隣国との共存と発展→独立の大切さ

少ない労働人口→進路選択の柔軟性へ

学校間・地域間の格差を無くし、学力の保証

議員の20%は教育者や教員出身→公費を教育へ

2002年～競争・成果主義を選択した国々と別の道を歩んだ

(福田,2007)

# 資料⑫ 世界大戦のつめあと デモクラシーへの痛感



今は幸せの象徴に  
ロバニエミの  
サンタクロース村

2大国の間で  
揺れた続けた歴史



独立記念日の トーチに  
参加 12月6日  
学生たちの真剣さを知  
る。




平和について学ぶ授業  
(CLIL: 硬貨の裏側×  
切手×独立の歴史  
In English)

# 21世紀型スキル育成をめざす世界の学校で、今、課題となっていること→

## 21世紀の学校教育における、**目的**と**実情**の乖離

トップダウンで先進的教育改革が提唱されたとしても、それが達成されることは難しいと指摘されている(Calvert, 2016)。目的と実情が大きく離れてしまえば、日本の学校現場側にも諦念が広がることが懸念されるであろう。



ではどうやって?



## 4. フィールド実践研究 編

### Teacher Agency (運営行為への価値感)

スクールリーダーは、多様化する社会について複合的視野を持ち、自らの職（校長や教育リーダー）としてのキャリアと持続可能な地球社会への貢献をするという考え（Teacher Agency）のもと、リーダー相互協働と、企業・多機関連携プログラムを深める

(フィンランド ユバスキュラ大学における研究)

Japannin, 2017

Hallinger and Heck, 2010

**問い** 教師のTeacher Agencyはどう発達し変容するのだろうか？

# 事例Ⅰ 国語 (K, Leena先生) (小4 10歳 2クラス合同 Co-Teaching)



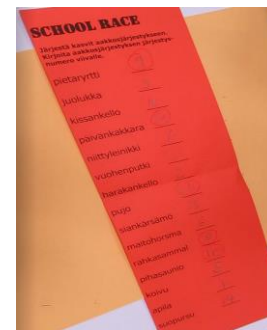
目当ての提示



内容はグループで読む



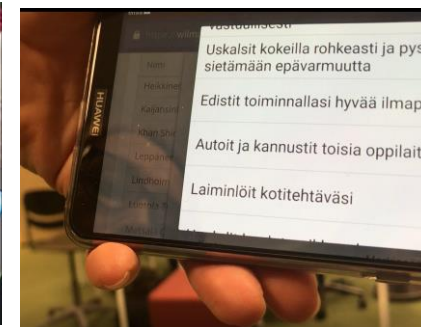
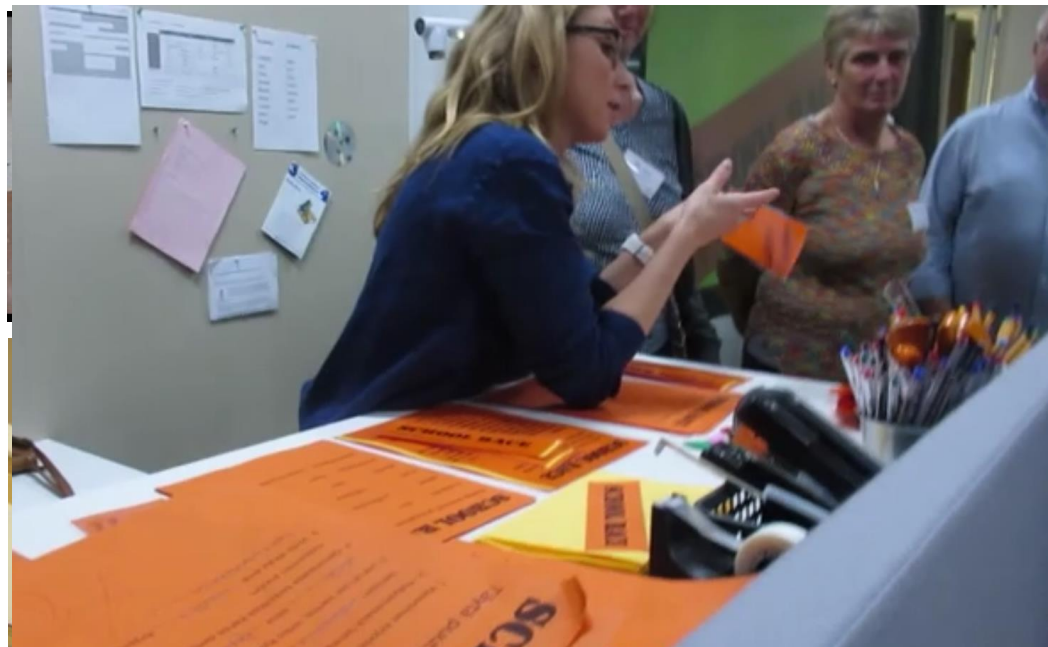
Task 1 協力してアルファベット順に



Task 1-7 Fi語の文のルールに気づく



Task を解決してはLeena先生がそれぞれにフィードバック



保護者にもOngoingの評価・助言  
WILMA アプリ

まとめと自己省察にじっくりかける。

問いについて、グループワーク

この間、ドイツからの訪問者に授業の意図を伝達

ビデオ（国語 ファンクショナル・ラーニング） 3分半

見る観点→**学びの環境** **教師のファシリテーション** **Teacher Agency**



# 事例Ⅰ 国語 (K, Leena先生)

## School Race

Leena先生が出すCue (問い) を読み、グループで協力して生きた語彙を学び、母語の言語機能、文法の特徴に気づかせる。

- 1) 2020学習指導要領の変遷を理解した、**Functional Learning (FL)**としての位置づけ
- 2) 自分がグループにどう貢献できたかについて、12個の観点の評価項目を理解し、自己評価をする前に話し合い省察 (**グループスキル・省察と学習者の自律性**)
- 3) 1人一台のタブレットを使い、学校の様々な場所で写真とレポートをアップロードする (**ICTを創造的に活用**)
- 4) WILMA (デジタル評価ツール) で保護者にReal Timeに近い形で、生徒の達成を褒めたり助言をしたりする。  
**教師—生徒—保護者**と、3者を結んで学びを高める (**教師一人の自己コントロール型努力を抜けている**)

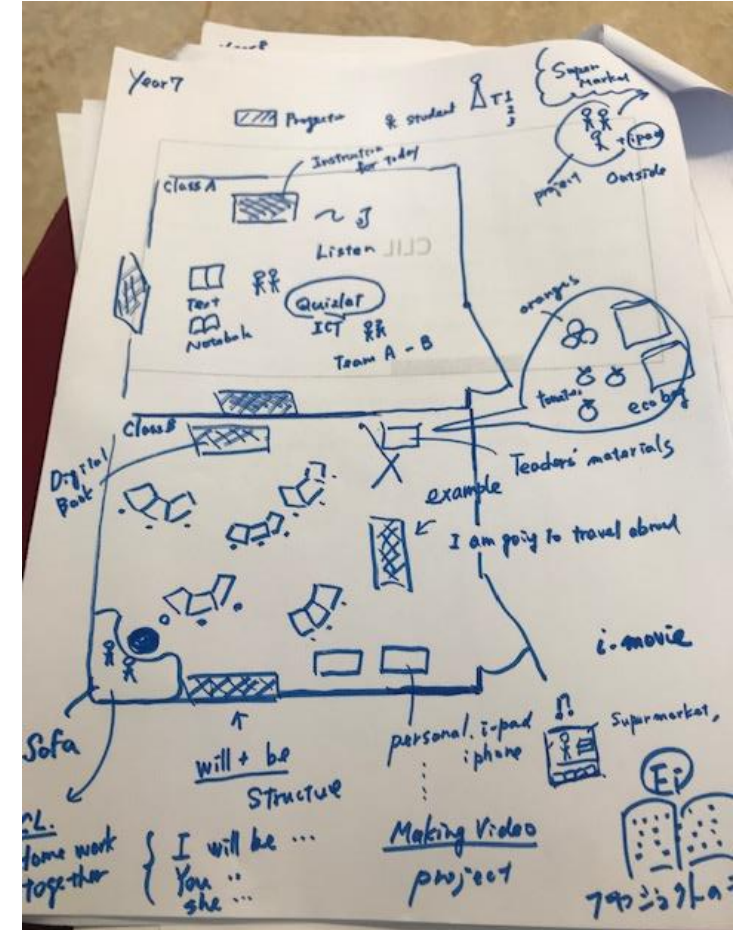
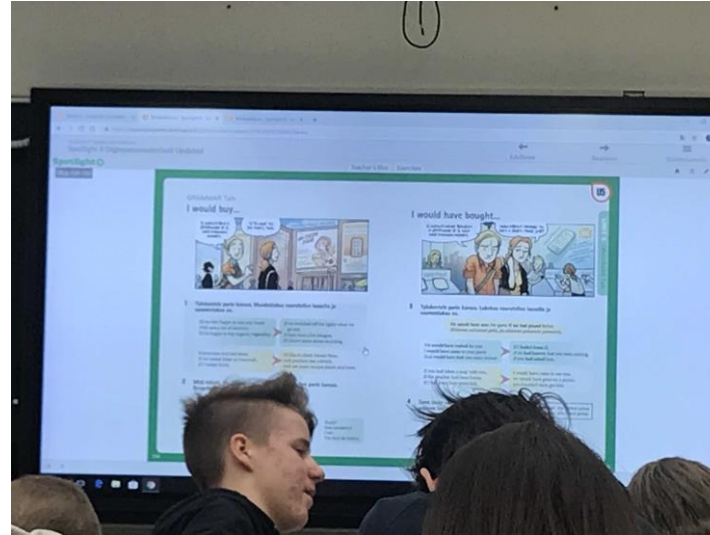
2020年学習指導要領において、先生らと **Phenomenon-based learning** (**現象ベースの学習**) を創り出している。

## 評価の中心

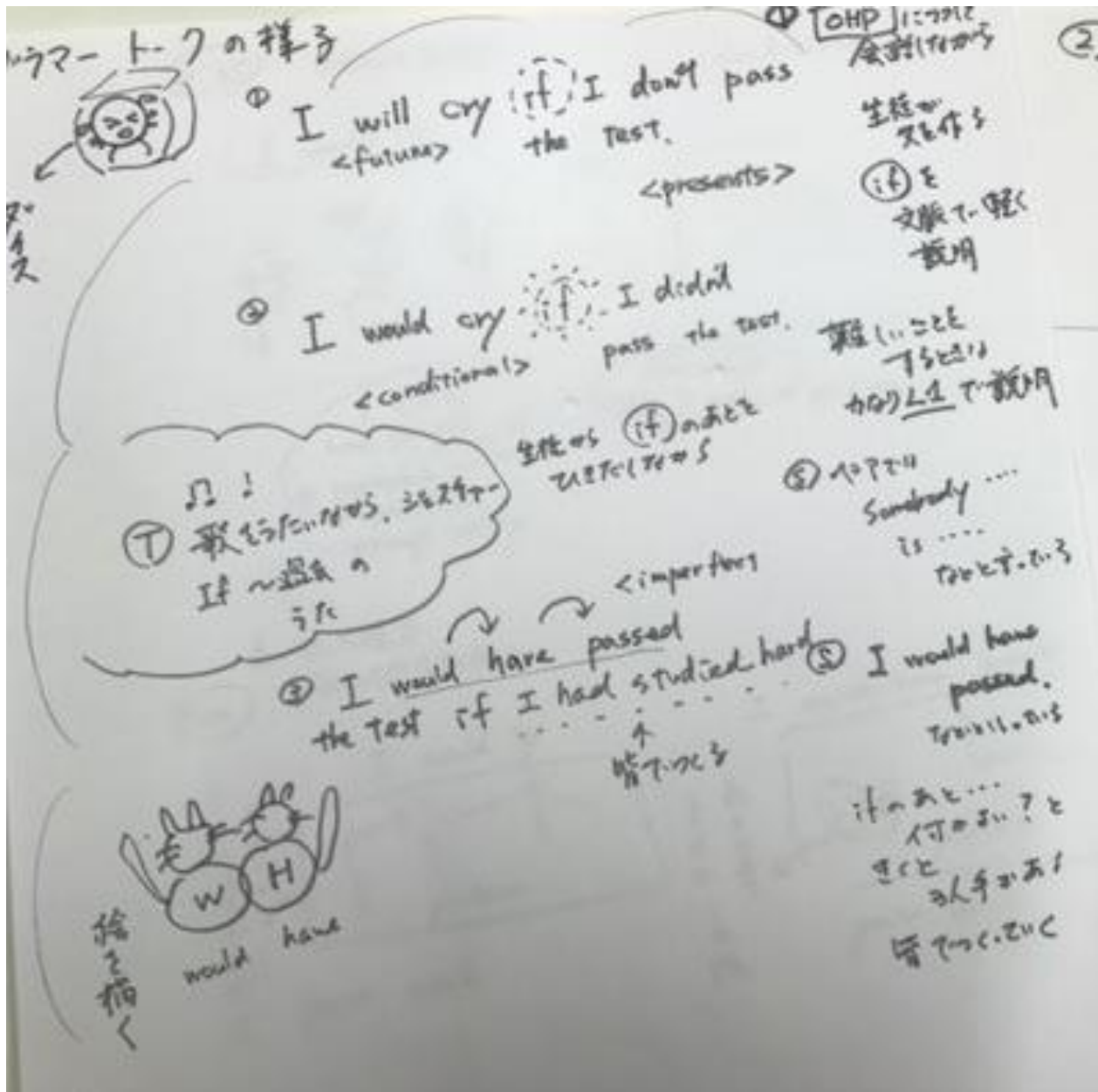
- 1) この活動で友達の良いを見つけられたか
- 2) 自分の役割を果たせたか
- 3) 皆おなじぐらい以上力を出せたか?
- 4) 自分から行動できたか

# フィンランドの英語教育事例から

# 事例2 中学校英語 (14歳 2クラス合同 Co-Teaching)



# 柏木メモ 先生の「グラマー・トーク」

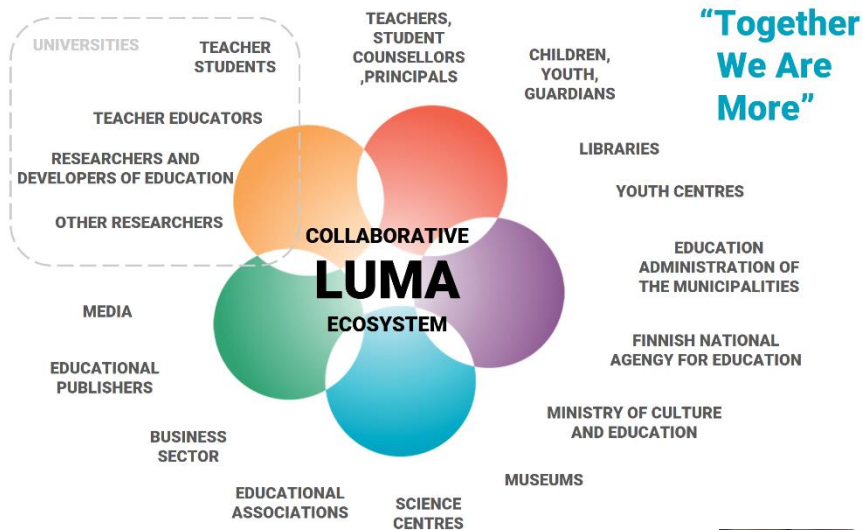


使えるようになってきた英語の文法について、会話をしながら、スキーマを活性化して、構造をおさえていく（帰納法）。（例文は、皆で一緒に作る）

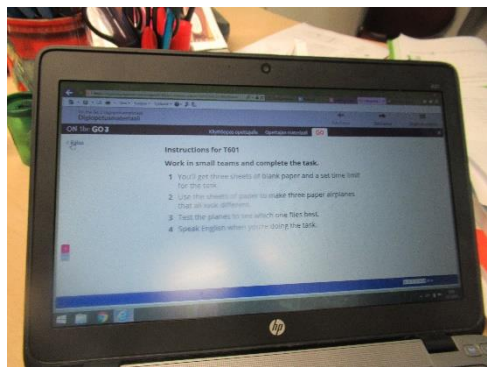
I **would have** passed the test if I had studied hard.

# 21世紀型 Job Hunting Task

自分と未来の話題 SDG s



異分野を超えて  
一人は十分ではないのだから



教員どうし研究  
タスク共有 デジタル



考えるプロセス 教科連携

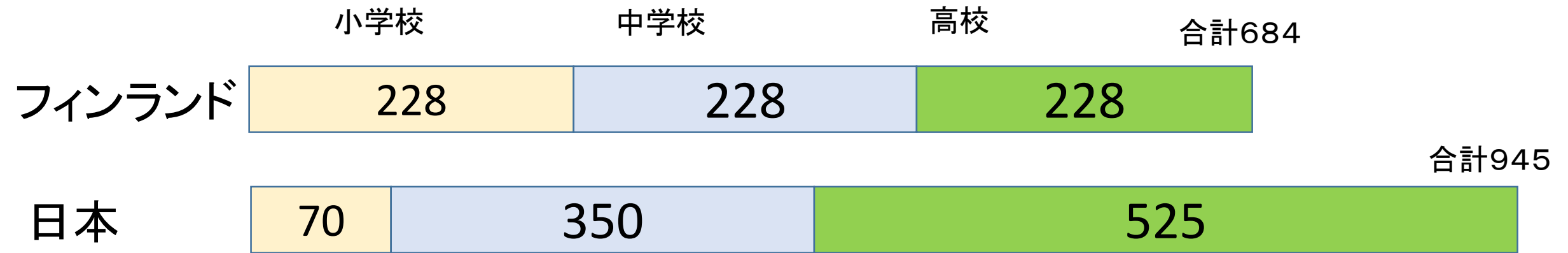


社会に繋がる語彙 Kahoot活用自作教材



# 英語授業時間と時数

# どちらが日本？



(伊東、2014、p.71/p.115、2019改変)

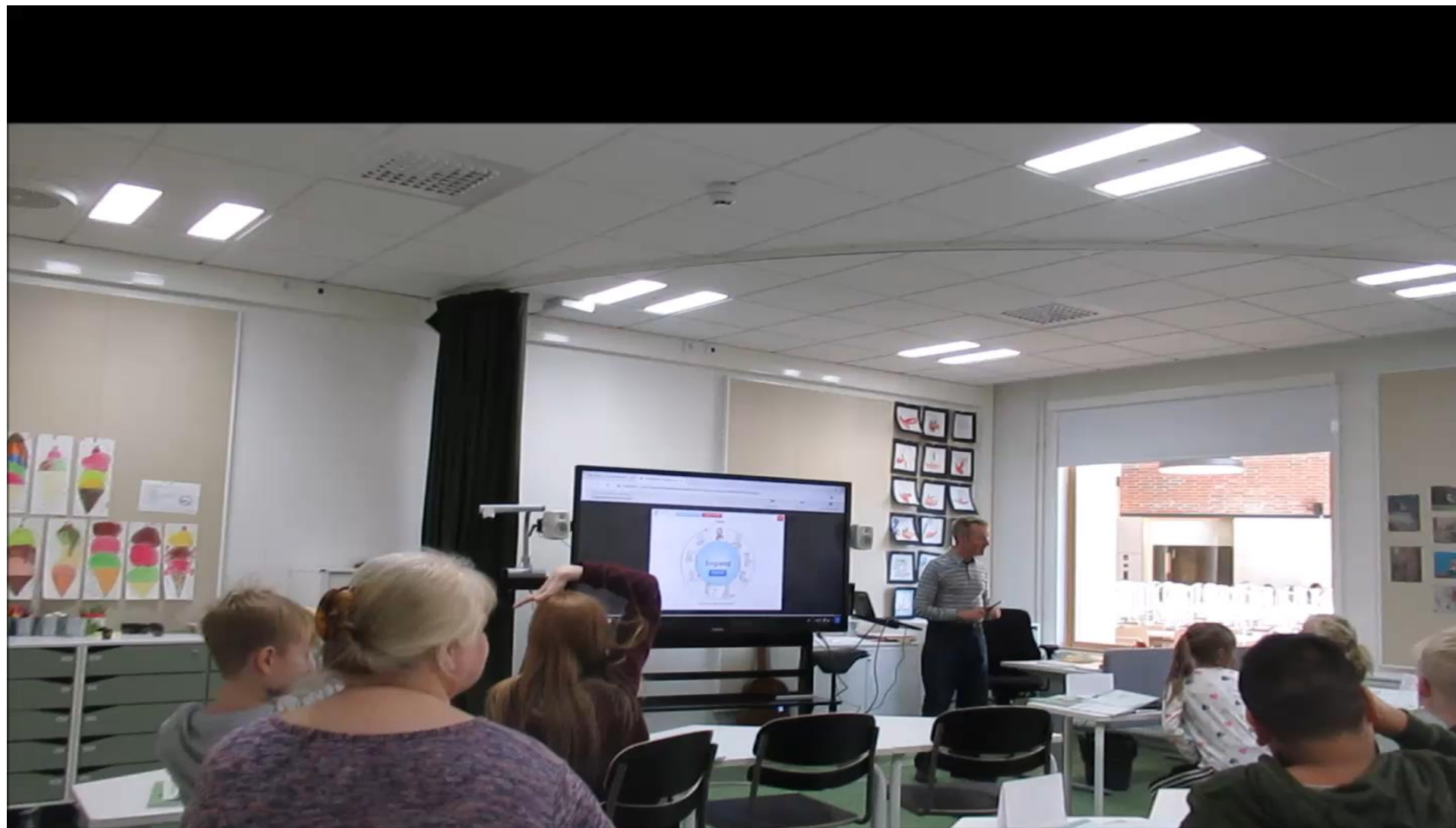
フィンランドは、2020年より中学校英語 (-1)  
Sweden語 (-1) 理数 (+1) シチズン (+1)

映像

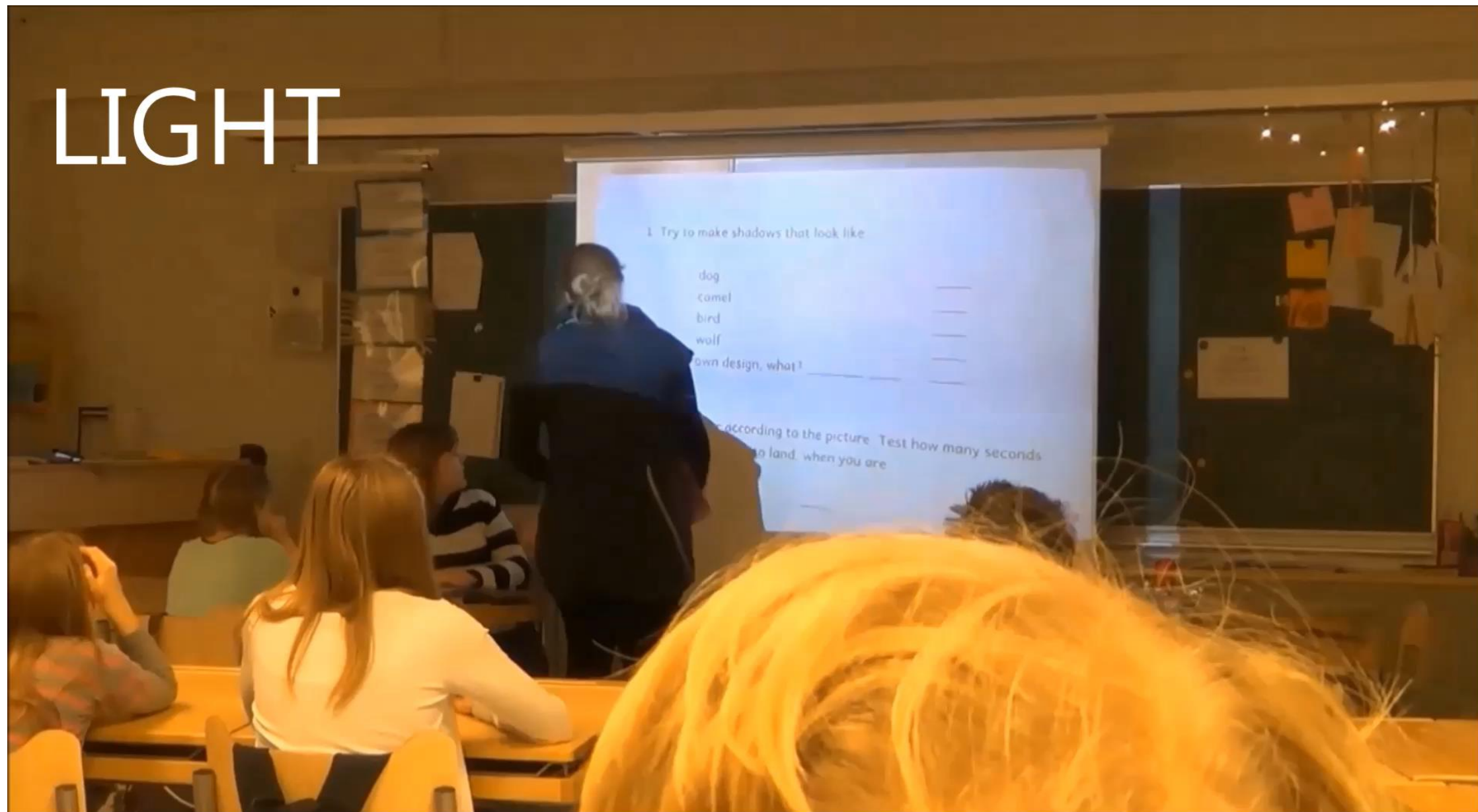
小学校 中2年 画像と映像クリップを見ながら、何が日本の英語教育と違っているのか、推測してみよう。

ビデオ（初めての英語 小学校3年生 フィンランド

見る観点→インプットの保証 デジタル教材 全国の均質性



ビデオ (CLIL教師による授業 小学校4年生 フィンランド)  
見る観点→内容 インプットの豊かさ重視 曖昧さへのタフネス



# ビデオ（中） フィンランド 普通の英語の時間「わたしの部屋」 見る観点→繋いで、つくりながら、発話にもっていくプロセス



日本ではここの指導が一番少ない

「書いてから話す（読む）」というだけでは、コミュニケーションに繋がらない。

全国スピーキングテストの課題  
→

繋いでゆっくり話してみる、というタスク指導なしで、テストだけを変えても伸びない。

# 教える手だて「プロセスが大事」と理解している フィンランドの教師 → 応用 と 転移 が異なる

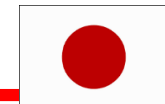


事例 Story Cubesの活用

# フィンランドと日本の英語教育の相違

福田, 2007 伊東, 2014 柏木(インタビュー取材)

## つかう、つかう、つかう 連続



- +母語+英語+□+□ 複言語
- 教科連携・CLILで生活を豊かに
- +内容理解・量たっぷり(インプット)
- +フィンランド人の先生が指導
- +ICT活用 (生徒が使う)
- Kahoot Quizlet
- +教科書・デジタル教材の充実

学ぶプロセス重視 How  
テスト少—把握のためテスト

- 15歳で4技能習熟
- インプット+やりとり+翻訳タスク

教科の学力  
トップクラス

母語リテラシー  
トップクラス

- ✓ シャイ
- ✓ 自己効能感↓

英語は英語で? (理解達成が大切)  
(先生だけぺらぺら?)  
ネイティブへの分業

+ICT活用 (教師デモ用)

テスト重視 What  
テストを変えれば指導法が変わる?

- ✓ 内容重視になっていない
- ✓ 限られた語彙・文法制限
- ✓ やりとりが少ない

生徒が英語で自己表現するための選べる語彙リスト + 生徒の母語の背景知識(ペア翻訳)+他教科力活用(CLIL)  
つまり、様々なコンテキストで目標表現を即活用する

# 体験（フィンランド⇔SLA基本を踏まえる教育）

つかう、つかう、つかう 連続

## 三つのおすすめ

- **英語×教科特有言語**・・・生徒の母語・他教科力との併用
- **語彙**・・・選べる語彙を・デジタルの活用
- **使う文法**・・・内容・文脈と切り離さない  
すぐに使って一緒に創る→明示説明

# 誰でも出来る指導! SLA+フィンランドの工夫



1 何の話かな？



2 ペアで同時通訳

- ①じゃんけん (半分で交替)
- ②上手くなれば同時通訳

3 グラマータスク

- ①ペアでマッチング
- ②SDGsのために出来ることを二人で考える

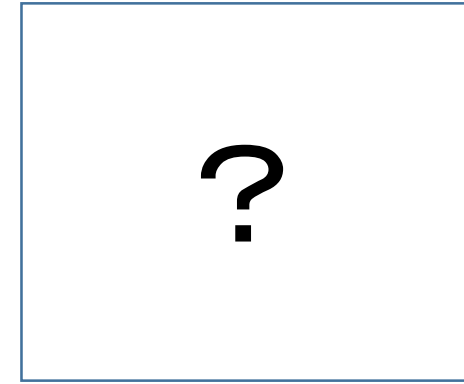




TED: 21st Century Skills /Joe Ruhl

<p>1 Imagine our early hominid ancestors out looking for food.</p>	<p>1 わたしたちの人類の祖先が食べ物を求めてさまようところを想像してみてください。</p>
<p>2 Don't you know that finding and tracking that woolly mammoth required critical thinking and problem-solving?</p>	<p>2 あの毛むくじゃらのマンモスを探しだし追いかけるには、批判的思考力と問題解決能力が必要だと思うだろうか？</p>
<p>3 It definitely required collaboration, teamwork. I mean, you wouldn't want to do this by yourself.</p>	<p>3 それには、絶対、協働やチームワークが必要だし、つまりその、君は自分一人で挑みたいって思わないだろう。</p>
<p>4 No way.</p>	<p>4 まさか！</p>
<p>5 And collaboration required communication.</p>	<p>5 それに協働するにはコミュニケーションも必要だった。</p>
<p>6 And then I imagine those people sitting around the campfire at night, reliving the adventures of the day's hunt.</p>	<p>6 さらに、僕は、そいつらが、その日の狩猟の冒険にほっとして、夜、かがり火の周りで座っているのを想像するね。</p>
<p>7 They must have had smiles on their faces when they were retelling the story of the hunt.</p>	<p>7 狩猟の自慢話を繰り返し話すときなんか、満面の笑みを浮かべてたに違いないさ。</p>
<p>8 And I know they smiled when they put those cave painting up on the wall because creativity is a uniquely human, pleasurable, satisfying activity.</p>	<p>8 そりゃ、洞窟の壁にその絵を描いては笑ってたさ。だって、創造っていうのはおもしろいことに人間だけのもの、喜びと心が満たされる行動だからさ。</p>

フィンランド例 Grammar Task ~たら ~のに 妄想タスク



If I were Bill Gates,  
I would establish a company like Microsoft

I am a software creator.  
I can develop an innovative application.

If I were a member of Queen,  
I would inspire people.

I am a singer.  
I can compose a song.

If I were Gaudi,  
I would construct a best school for children.

I am an architect.  
I can draw a blueprint.

Your Idea

• <https://www.youtube.com/watch?v=UCFg9bcW7Bk>



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 大学入試が変わる？→何も変わらない部分は？

留学先や、大学間で、世界の同じ分野で活躍する若者と議論し、協働で学ぶ力を測るテストを目指す。

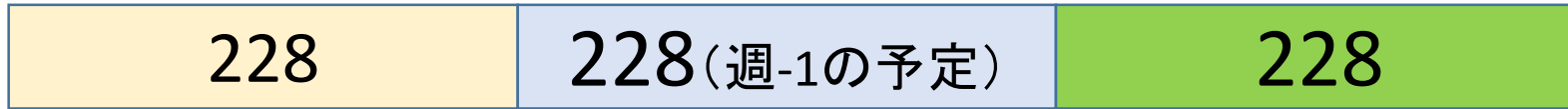
- 英文を読んで内容を整理して、自分の考えをまとめ、レポートする  
(紙：IELTS キーボード：TOEFL)
- 対人 (IELTS) 対PC (TOEFL)でたじろがない(場数)
- 分量とスピードに馴れる (量・即興)
- 一般・日常のトピックだけでなく、「地球」「21世紀」「SDGs」  
「科学的思考」を扱った内容に興味を持つ (面白がる)。

穴埋め？練習？英文順序？ 問題をたくさん解いても出来ない部分をどのように耕すのかは、指導プロセスにかかっている。

# 英語授業時間と時数

合計684

フィンランド



合計945

日本



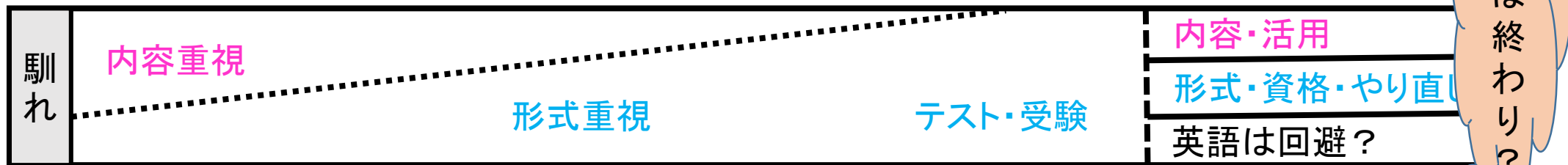
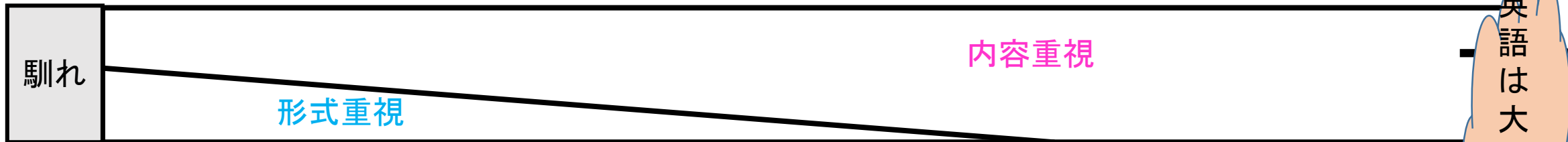
小学校3年一

中学校

高校

大学

修士・博士



(伊東、2014、p.71/p.

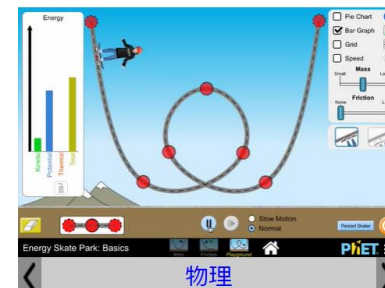
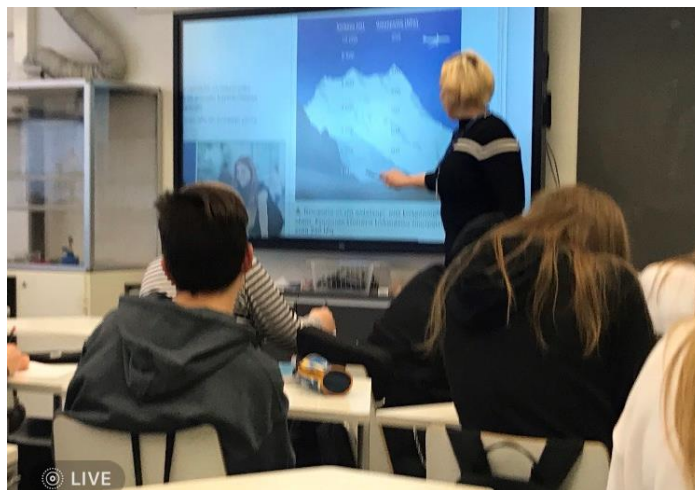
(柏木作成、2019)

英語は大人は終わり？

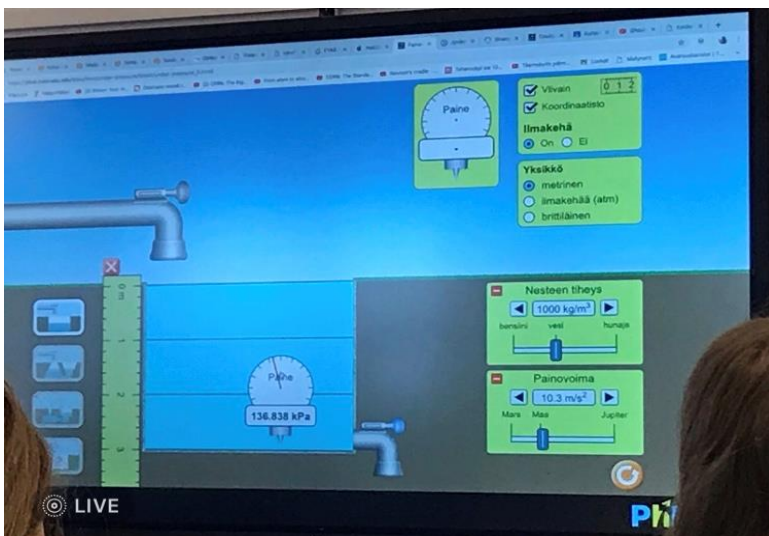
# 事例3 中学校理科（「圧力」と「単位当たり」）（中2 14歳）



デシケータ（実験器具）  
真空の演技実験



物理・数学で  
使いこなすシュミレーター

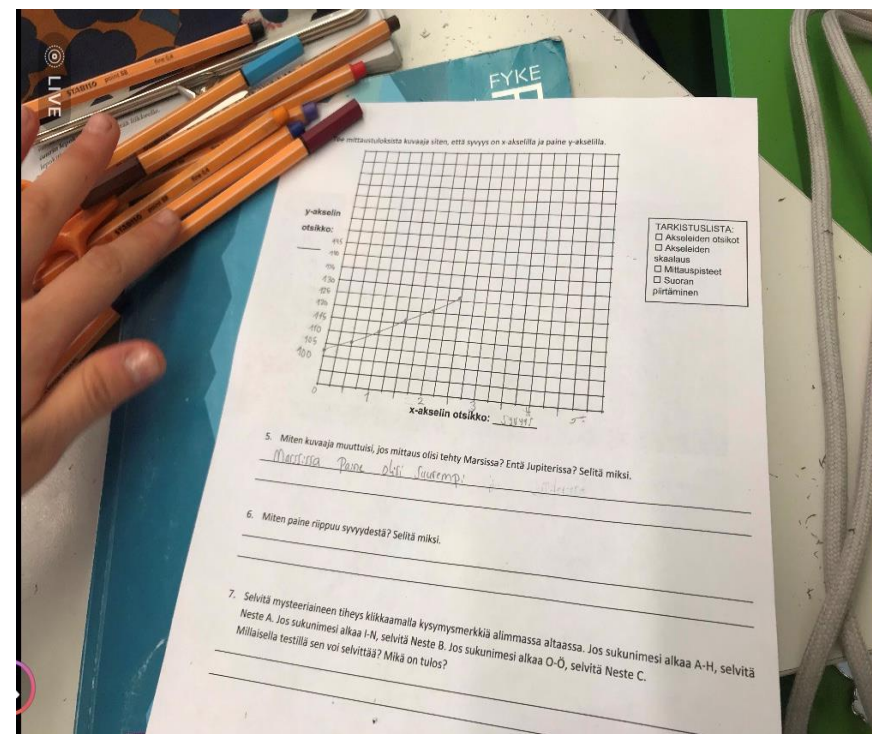


静水圧のシュミレーションソフト



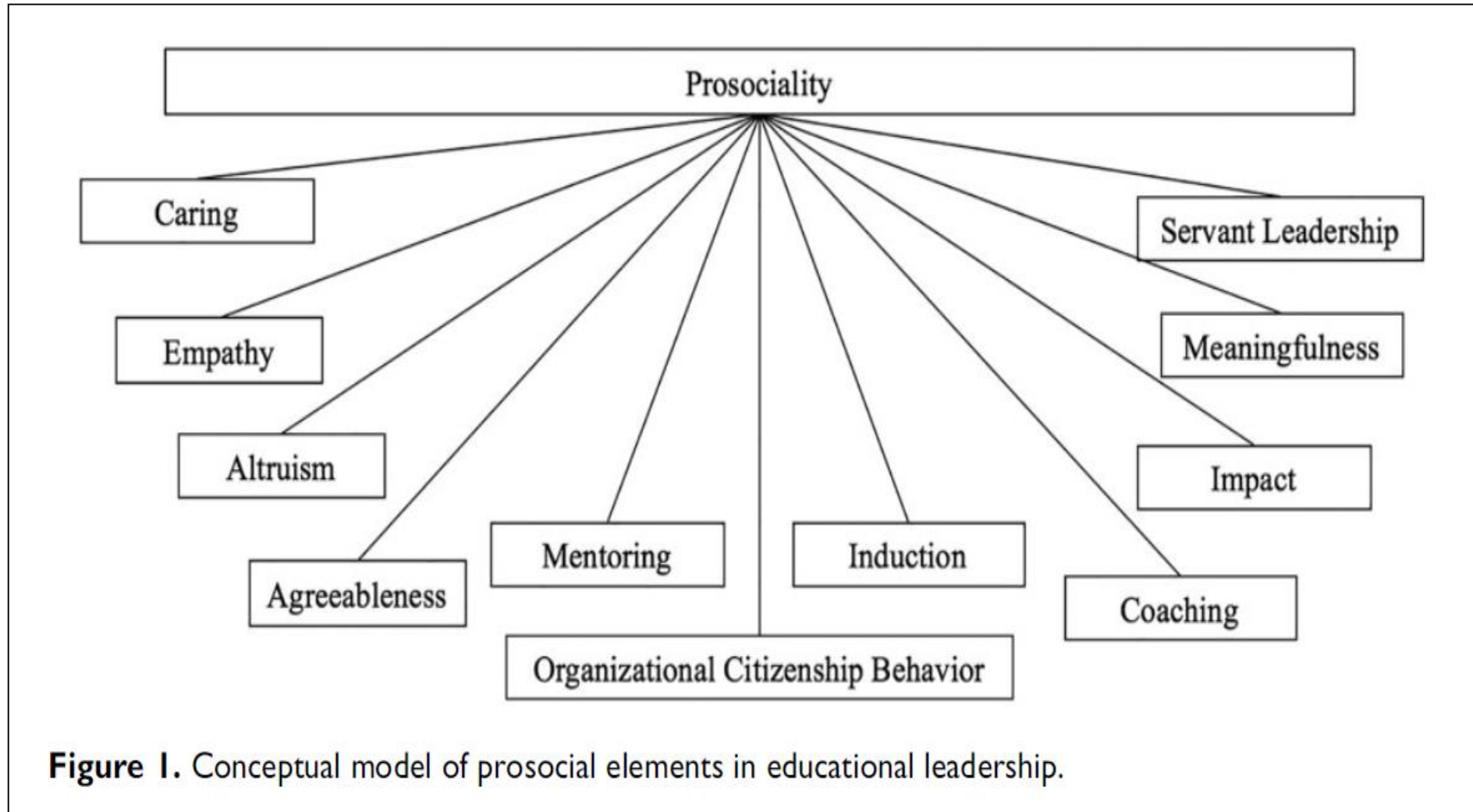
<https://phet.colorado.edu/>

PheT コロラド大学開発  
INTERACTIVE シミュレーション  
科学と数学FOR → 探究と発見



生徒の作図と、プロセス記述

# 教師のTeacher Agencyを変容される要因とは？（仮説）



Yada, T., Jappinenn, A..(2018).

# 教師のTeacher Agencyを変容される要因とは？ (現在の仮説) → 日本⇔Fi CLIL教員国際共同研究において準備中

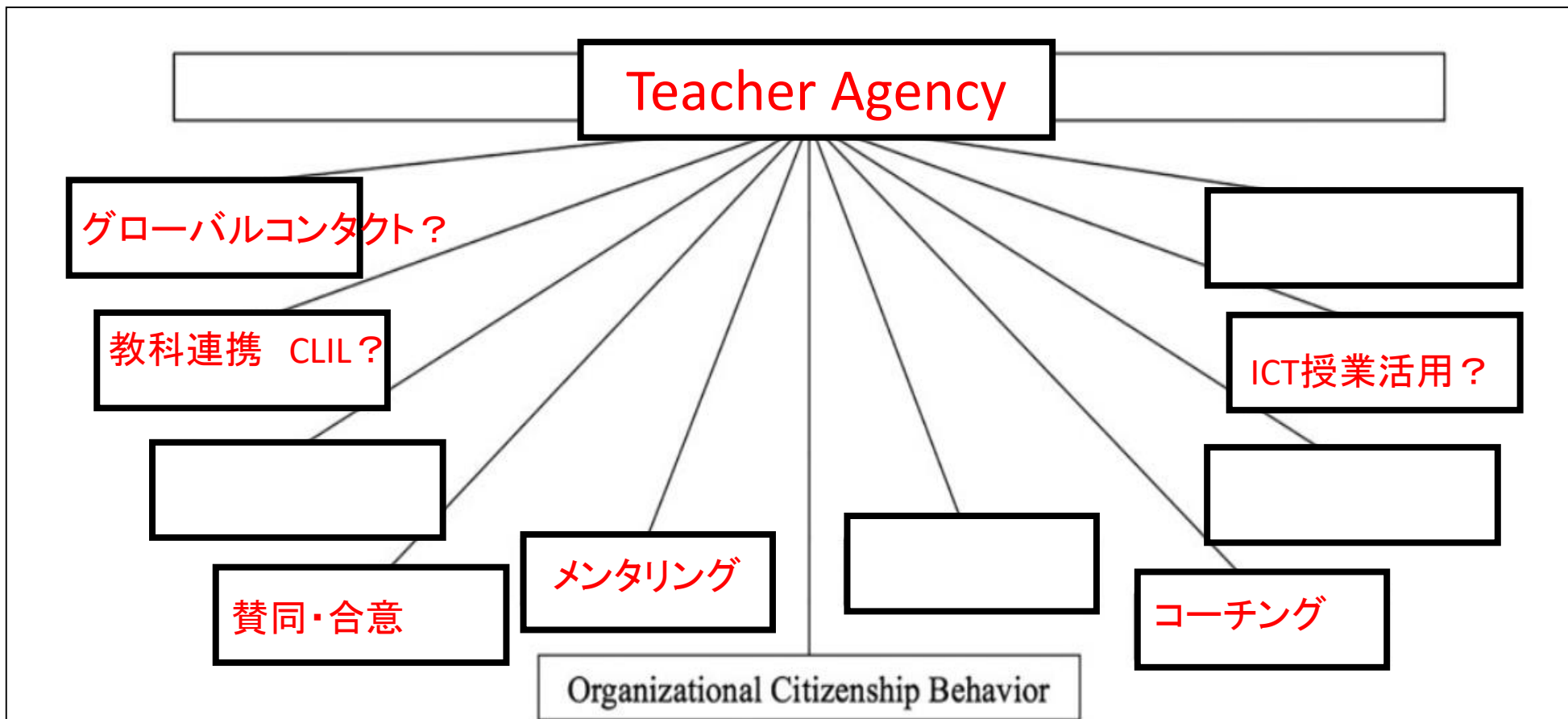


Figure 1. Conceptual model of prosocial elements in educational leadership.



言葉の学習を観察して、CLIL（内容言語統合型学習）と、教員養成を探究に行き、それらの良さは、フィンランドの教育の氷山の一角に過ぎないと分かった、半年間でした。

同じ北ヨーロッパの国々のそれぞれの教育と、フィンランドの教育の異なりに衝撃を受けた後半3か月でもありました。

# まとめ

その国・その学校らしさ、出来ていることを、科学的データに基づいて、精選してみる。

教師が、生徒が、社会のためにディスカッション。繋がったり、ほどけたりするKnot Workingをしてみる。

固定化した組織から、しなやかな即興の協働へ

自らのTeacher Agencyを探してみる。小さな改革をはじめてみる。

Global Contactを経験してみる。  
(異文化間のコンタクト)

後期 グローバルプログラム  
水曜「グローバル時代の教師」  
木曜「グローバル・リテラシー」

# 主な参考文献

- Biesta, G., Priestley, M. & Robinson, S. (2015). The Role of Beliefs in Teacher Agency. *Teachers and Teaching: Theory and Practice*, 21(6).624-640.
- Emirbayer, M. & Mische, A., (1998) What is agency?, *The American Journal of Sociology*, 103, 962-1023.
- Moate, J. (2017). Teacher agency within the Finnish CLIL context: tensions and resources. *International Journal of Bilingual Education and Bilingualism*, 65, 61-7
- Sahlberg, P. (2011). *Finnish Lessons*, New York and London: Teachers College, Columbia University.
- Yada, T., Jappinenn, A..(2018). A systematic narrative review of prosociality in educational leadership, *Educational Management Administration & Leadership*, doi: 10.1177/1741143218768579
- 福田誠治 (2007) 競争しても学力行き止まり 東京：朝日新聞社
- PISA OECD <http://www.oecd.org/pisa/>
- PISA調査2015年 (国立教育政策研究所) <https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html>
- Hayashi, K. (2015) . Edu-Port <http://shinshuedu.blogspot.com/2015/09/blog-post.html> ポスター発表

世界の教育・教材 等→柏木賀津子 ホームページへ<https://www.kashiwagi-lab.com/>

一本の価値観より、2本の価値観をもつ教師は、「折れにくい」、  
そう思ってGlobal Contactをサポートしていきたいと思っています。

フィンランドの部、おわり  
ご清聴ありがとうございました。



科研基盤研究C 「教科内容の深化を図るCLILと小中学生の文構造への気づき」 2017-2022

国際共同科研B 「グローバルスクールリーダーの資質一向社会性形成への日本とフィンランドの共同研究」2019-2023

2020年3月28日(土) @大阪教育大学天王寺キャンパス

柏木賀津子(大阪教育大学) 伊藤由紀子(大阪成蹊大学) 森田琢也(箕面高校)

ワークシートと実践発表 実際にCLIL授業を創ってみよう

主催:教育開発出版社

2020年5月17日(日)13時~J-CLIL西日本@大阪教育大学天王寺キャンパス

『東西高校CLILコラボ・大学CLIL特集』

- ①基調講演: 工藤泰三(名古屋学院大学)
- ②白井龍馬(横浜女学院高校)× 森田琢也(大阪府箕面高校)
- ③谷野圭亮(大阪府大高専)

実践発表 Q&A トークを 予定しています。

# 休憩

スマホをお持ちの方、CLIL体験コーナーに向けて、n-Track tunerを入れてくださると助かります。



Google→柏木賀津子→ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.kashiwagi-lab.com/>



HPのパワポ資料

HPのここ  
「れんらく2019」

講演パワポ  
CLIL素材も有り

SLA 第2言語習得への招待 —UBM・Focus on Form・CLIL—



Blog 日々つづやき

僕は自分の目で見たものしか信じない。けど、この目で見たものはどんな無意味なものでも感じるよ。『そのうちなんて言てにやらないか、今がその時よ。』

Tove Jansson—through Saotkin

[Kazu's blog](#)

Since Aug 31st, 2018



News

◇2019年8月

母語習得理論から得られた知見であるUsage-based Model: UBMには私たちが知らない前に身につけた母語獲得のプロセスがあります。私たちはそれを意識することは無いのですが、2歳児の頃に体験したはずの人の認知は「手続き的知識」の連続で、友達の所作に注意を向けて学ぶほど深まりやすいのです。それは外国語学習にも深い示唆を与えます。UBMやSLAに基づいて、思春期の児童・生徒の学びを理解し、小中連携の英語教育「これなら分かる」という指導に取り組みしてみませんか。ゼミでは常に実際の授業実践をおとしたデータ収集と分析を行い、教師としてのピリフ（伝染）を身につけます。教職大学院では、「グローバルリーダーシップ」「21世紀型スキルと教科連携」にも取り組みます。



Event J-CLIL西日本

[2018年3月大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて開催しました。](#)

2018年5月 輪読会—80名の参加があり盛況でした。

2019年5月 学習会

2019年11月17日（日）12時半—17時に決定！

C. Dalton-Puffer氏招聘CLILシンポジウム

大阪教育大学天王寺キャンパスミレニアムホール

支部長（柏木賀津子：大阪教育大学）

副支部長（工藤泰三：名古屋学院大学）

→運営委員

「見える君から考える君へ」

Project 企画

大阪教育大学 CLILワークショップ HATOプロジェクト

「イタリアのCLILに学ぶ」

「見える君から考える君へ」



Kazuko Kashiwagi, Ph.D.  
[Osaka Kyoiku University](#)  
Graduate School of Teacher Education  
[大阪教育大学 連合教職大学院](#)  
Professor  
Applied Linguistics  
Teacher Development

4-88 Minami-Kawahori Tennoji,  
Osaka, Japan  
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

[Description of Research Interest](#)  
Major research interest in processes of foreign language learning for early adolescent learners (age 11-14). Current theoretical focus on Usage-based Model, Focus on Form, and CLIL.

講演パワポを、アップしています。  
<https://www.kashiwag-lab> (ホームページ)

# 著書発刊予定



2019年夏・新刊予定  
小・中学校で取り組む  
はじめてのCLIL  
英語授業づくり (仮)

柏木賀津子 (大阪教育大学教授) 、  
伊藤由紀子 (大阪成蹊大学講師) 著

英語で様々な教科の内容を扱うCLIL (内容言語統合型学習) は世界的に導入が進められており、国内でも関心を集める指導法です。特に教科を超えて指導しやすい小・中学校段階で、効果が認められました。

日本のCLIL英語指導を先導する著者らが、CLILの基本的な考え方が具体的に授業案まで1冊にまとめました。CLILに取り組みたい先生方へ待望の入門書です。

発行：大修館書店  
[問い合わせ] 編集二部・小林  
(tel:03-3868-2294, mail: kobayashi@taishukan.co.jp)

〔予定目次〕  
第1部 実践編  
CLILに基づく小・中学校の授業案  
Lesson 1～9  
第2部 理論編  
CLILを支える  
考え方と応用  
第1章 CLILによる指導の基本  
第2章 CLILによる深い学び  
第3章 CLILによる指導の評価  
第4章 CLILによる指導での文字指導  
第5章 模擬授業 (一部変更の可能性あり)

BS判  
160ページ  
一部カラー  
予価 2200円  
(価格変更の可能性あり)

小学校・中学校(大修館)2019年予定  
『英語教育』好評連載中

『中学校・高等学校 にとっておきの魅せる！英語授業プラン思考プロセスを重視するCLILの実践』

明治図書

柏木賀津子 & 伊藤由紀子  
編著

中学校・高校(明治図書)2020年夏予定